ドイツ語

文

ドイツ語Ⅰ上級（A）／ドイツ語Ⅱ上級（A）

（金 1）　テクストを読む　佐藤　茂樹

授業科目の内容：

現代ドイツ語のテクストをゼミナール形式で輪読します。一定の分量を読んだら，ドイツ語の質問に答える形で再度みなで理解度を確認し合います。テクストのレベルは，

Ein junger Gelehrter soll sich einmal bei der Vatikanischen Bibliothek in Rom（1）eine Stellung beworben haben. Bevor er zum Bewerbungsgespräch vor（2）Kommission gerufen wurde, musste er eine Weile warten. Er stand vor（3）riesigen Bibliotheksregalen und nahm in Gedanken ein Buch aus einem Fach...

位です。（1）には前置詞を，（2）と（3）には定冠詞を補ってください。

教科書：

最初の数回は，プリントして配布します。

参考書：

高校時代に使用した教科書を随時参照してください。

授業の計画：

【春学期】

第一回：習得度確認テスト

第二回以降：一回につき 10 頁前後を目標にして進みます。

【秋学期】

春学期と異なるジャンルのテクストを読みます。

春学期と同様のペースで進みます。

担当教員から履修者へのコメント：

習得度確認テストの結果に応じて最終的にテクストを確定しますので，第一回目の授業には必ず出席してください。

成績評価方法：

平常点および学期末試験

質問・相談：

少人数（昨年度は３名）の授業なので，その都度教室で相談してください。

ドイツ語Ⅰ上級（B）／ドイツ語Ⅱ上級（B）

（水 3）　Konversation zur Landeskunde der deutschsprachigen Länder　未定

授業科目の内容：

In diesem Seminar sprechen wir über aktuelle Themen in Deutschland, Österreich und der Schweiz. Wie ist das Alltagsleben an den Unis, in den Familien, am Arbeitsplatz? Worüber spricht man, worüber lacht man, was wird eher als bedrückend empfunden? Welche Feiertage und Feste begeht man? Wie steht man zum Thema Klimawandel? Was denkt man über die Hochschulreform? Wie blickt man in die Zukunft? Als Materialien für das Seminar dienen Texte unterschiedlicher Textsorten und aktuelles Filmmaterial. Die

Themenauswahl richtet sich auch nach den Wünschen der Teilnehmer. Grammatik wird je nach Bedarf erklärt.

教科書：

Kopien

担当教員から履修者へのコメント：

Ziel des Kurses ist auch die Verbesserung der aktiven Sprachkompetenz im Deutschen.

成績評価方法：

Wichtig sind Anwesenheit und aktive Teilnahme am Seminar.

ドイツ語Ⅰ上級（C）／ドイツ語Ⅱ上級（C）

（月 1）　ブリール，リタ

授業科目の内容：

Lektüre und Interpretation literarischer Texte wie z. B. Gedichte, Lieder, Märchen, Kurzgeschichten. Außerdem können Sie Ihr Alltagsdeutsch auffrischen oder vertiefen.

教科書：

Wird im ersten Unterricht bekanntgegeben.

担当教員から履修者へのコメント：

Auf gute Zusammenarbeit!

成績評価方法：

Regelmäßige Teilnahme!

（春）　ドイツ語会話中級Ⅰ／（秋）　ドイツ語会話中級Ⅱ

（木 2）　Frage und Antwort　ザインシュ・マックス

授業科目の内容：

Mit Hilfe von Hör- und Lesetexten zum Alltagsleben in Deutschland soll die Fähigkeit trainiert werden, gezielte Fragen zu stellen und zu beantworten.

教科書：

Materialien werden den Fähigkeiten der Teilnehmer entsprechend gewählt. Themenwünsche werden im ersten Unterricht besprochen.

参考書：

Wörterbuch (bitte zu jedem Unterricht mitbringen)

担当教員から履修者へのコメント：

Aktive und rege Mitarbeit ist immer willkommen.

成績評価方法：

Anwesenheit, Mitarbeit, Hausaufgaben und Test am Semesterende.

経

ドイツ語第Va／第Vb

水曜３時限　　口語トレーニング　　クリーク、ブリギッテ

伊藤　行雄

授業科目の内容：

この授業ではドイツ人の先生が中心となって初級の授業を終えた皆さんに基本的な口語表現のトレーニングを行います。皆さんは１年のとき、ドイツ語の発音を含めてじゅうぶんなトレーニングは受けられなかったと思います。この授業では、ドイツ人の先生の授業を聞きながら、ドイツ語の基礎的な口語表現能力を集中的に養うことが目的です。授業は基本的にドイツ語で進められますが、ごく簡単な事から始めます。

小人数クラスなので、トレーニングは個人的に指導することが可能です。簡単な表現から徐々に始めていろいろな表現のパターン練習を行います。１年後には簡単な会話ができるように進めていくつもりです。

当然のことながら、たえず積極的に授業に関わることが要求されます。

成績評価方法：

１）毎回きちんと準備したうえで積極的に授業に出席しているかどうか。

２）レポート、宿題などを提出したかどうかなど、授業への貢献度など総合的判断して評価します。原則として成績評価のための試験は行わず、成績は上記の評価で決まります。

使用テキスト：

テキストは当初はプリントを使用する予定。テキストはその後に決定する。

法

ドイツ語インテンシブコース初級　　A組　三瓶 慎一（火３・火４・金２）　シュミット，ウーテ（木４）

B組　濱野 英巳（月５・金３）　シャールト，ミヒャエル（月４・土１）

内容： インテンシブコースは、日本とドイツの現代的問題について社会科学的な視点から議論できる能力を育成する、４年間の一貫したプログラムです。

初級はそのための基礎を成す重要なクラスです。第１の目標は、知的な言語活動を支えるための文法体系の構築です。個々の項目を実際の言語運用の中で応用できるネットワーク（語感）にまで高める練習を積み重ねます。第２の目標は実践を積んでドイツ語を実際に使えるようにすることです。ある外国語が使えるようになるためには、その外国語を使ってみること以外に方法はありません。日本人教員とドイツ人教員の双方の授業で、ドイツ語を使う機会を多く提供します。

ところが困ったことに、外国語学習では万人に共通のベストの学習法はないのです。性格や感性に応じて各人にふさわしい学習法はそれぞれ異なります。自分にとってどういった学習法がベストであるのか、学習者自らが知っておく必要があります。

このため初級では、各受講者の学習プロセスに応じて導入のしかたを大きく２つに分けます。A組は日本人教員が週３コマを、ドイツ人教員が週１コマを担当、一方B組では日本人教員とドイツ人教員がそれぞれ週２

コマを担当します。

A組は、どちらかというと言語の構造を先に理解しておくと全体を習得しやすいという人向けのクラスです。ドイツ語の構造を把握し、それを応用することが中心です。のみならず、大学における知的な基礎訓練を兼ねて、言語学習を通して抽象思考能力、知的処理能力を磨きます。演繹的な学習の方向といえるでしょう。

B組は、どちらかというと外国語を多少間違ったとしても自由に使ってみて試行錯誤から学んでいく方が向いているという人向きです。能動的な発話の経験やもの怖じせずチャレンジすること、直感的に問題を解決するという方法でドイツ語を学ぶことになります。帰納的な学習の方向といえるでしょう。

いずれのクラスでも、ドイツ語の構造の体系的な理解と創造性豊かな言語運用が習得目標であることは変わりません。山の頂上は 1 つでも、そこへ至る登山道が複数あるのと同様です。入門段階で学習に無理が生じないように、導入の段階でバランスを多少変えているということに過ぎませんから、その点をよく考えてクラスを選択してください

各自が自己の学習の成果を自己管理し、不十分な部分があればそれを克服する方策を自ら考え出すことが必要です。授業への恒常的な出席、期限の遵守、教員や他の受講者との連絡、提出物の管理など、自己責任に基づく「大人の」学習態度を期待します。

リズムとイントネーションを重視した正しい発音のしかた、詩の暗誦、通訳練習、精読訳読、速読多読、語彙のマインドマップなどなど、あらゆる学習方法の可能性を提供しますから、さまざまな方法を体験することによって、自分の学び方を学んでください。

また初級でも、学習中のドイツ語で扱える範囲で具体的なテーマを設定します。自らの考えをドイツ語で表現し、問題を発見して解決案を示し、それをわかりやすく発表したり、それに基づいて議論したりする機会が多くあります。4 年間のインテンシブコースの目標である「ドイツ語パブリックスピーキング能力」の基礎を固めます。

担当する教員の紹介、授業のコンセプトや進め方、使用教材、その他の詳細は、4 月 4 日（土）14 時からの面談で説明します。

また 4 年間の学習計画を立てるために必要ですから、4 月 11 日（土）～12 日（日）のオリエンテーション合宿には原則として必ず参加してください。

教： 共通教材： 三瓶慎一著『CD で学ぶドイツ語入門』（白水社） [教室で頒布]
その他はオリエンテーションなどで指示します。

参： オリエンテーションなどで随時紹介します。

他： 学習対象の背景知識として必要なので、地域文化論（ドイツ）Ⅰ ～ Ⅳ をできるだけ履修すること。

ドイツ語インテンシブコース中級

1組 三瓶 慎一（木 3・金 1） シャールト，ミヒャエル（月 5・土 2）
2組 宮谷 尚実（月 4・月 5） シュッテレ，ホルガー（金 3・金 4）
3組 三瓶 慎一（木 3・金 1） オルランド，ダヴィデ（月 5）
シュミット，ウーテ（木 5）

内容： 1）インテンシブコース初級クラス修了者（2 年生）、2）高等学校での既習者（主として 1 年生）、3）レギュラーコース初級クラス修了者（2 年生）を中心としたクラスです。クラス分けテスト（37 ページ参照）によって適切なクラスを決定します。

ドイツ語の構造を体系的に理解していることが受講の前提条件なので、初級文法では扱わないような項目について落ち穂拾いをすることはあっても、いわゆる文法の授業は行いません。むしろ、これまで学習した事柄

を深めて、定着させること、それに基づく応用力を養成することが目標です。発信・受信の能力を文字メディア・音声メディアの両方で磨きます。

また中級で重要なのは語彙力の増強です。造語法についての感覚を磨くための練習を積みます。その学習途上では辞書を引く回数が一時期急増しますが、学習が成功していけば、辞書を引かなくても面白いようにわかるようになり、引く回数はまもなく減少します。

また現代社会の問題を題材として、これと批判的に取り組むことによって、ドイツ語能力を高めます。上級クラスに進んだ時の社会科学の専門分野との連動を図るためのものですから、積極的な参加、創造的なイニシアチブを期待します。

自らの考えをドイツ語で表現し、問題を発見して解決案を示し、それをわかりやすく発表したり、それに基づいて議論したりする機会が多くあります。4 年間のインテンシブコースの目標である「ドイツ語パブリックスピーキング能力」を磨きます。

各自が自己の学習の成果を自己管理し、不十分な部分があればそれを克服する方策を自ら考え出すことが必要です。授業への恒常的な出席、期限の遵守、教員や他の受講者との連絡、提出物の管理など、自己責任に基づく「大人の」学習態度を期待します。

具体的な成果として、学年末には Goethe-Institut の Zertifikat Deutsch やドイツ語技能検定試験準 1 級に合格することも目標の 1 つです。

担当する教員の紹介、授業のコンセプトや進め方、使用教材などは、4 月 4 日（土）、7 日（火）の試験の際に詳しく説明します。

また今後の学習計画を立てるために必要ですから、4 月 11 日（土）～12 日（日）のオリエンテーション合宿には原則として必ず参加してください。

㊎： オリエンテーションなどで指示します。

㊌： オリエンテーションなどで随時紹介します。

他： 学習対象の背景知識として必要なので、地域文化論（ドイツ）Ⅰ ～ Ⅳ をできるだけ履修すること。

ドイツ語第Ⅳ　火 1　　日本戦後社会探訪　　金田 治子

内容： 1945 年 4 月 7 日以降日本には 3 人の首相がいました。それぞれ海軍、皇族、文官の出身です。誰でしょう？ 私たちはどれ程自国について、特に戦後社会の形成過程について知っているのでしょうか？

終戦から新たな局面に移行する時、扉を開いたのは誰だったのか？ F. D. ルーズベルト大統領が 1945 年 4 月 12 日逝った時、敵国元首の死に哀悼の意を表した日本の首相は誰か？ 日本国憲法制定にあたり、戦争放棄条項を発案したのは誰か？ ウクライナ出身のユダヤ人ピアニストを父に持つひとりの女性も憲法制定に関わった。彼女が残してくれた贈り物とは？ 彼女は誰でしょう？ クラスではこうした疑問に答えていきます。

㊎： プリント配布。

㊌： そのつどテーマに応じて紹介。またはプリント配布。

他： 出席・授業参加（質問・発言・宿題）・テーマとの取り組み方を重視します。

ドイツ語第Ⅳ　金 4　　Deutschland und die Welt aktuell　　シャーベスベルガー・イダ，　ガブリエレ

内容： Diese Klasse wendet sich an Studenten mit guten Deutschkenntnissen, die entweder lange Zeit in Deutschland gelebt haben, dort Deutsch gelernt haben, eine deutsche Schule besucht haben oder sich anderweitig gute Deutschkenntnisse erworben haben. Diesen Studenten soll

Gelegenheit gegeben werden, ihre vorhandenen Kenntnisse aufzufrischen, auf den Stand einer Person mit Hochschulreife zu bringen und eventuelle Mängel zu eliminieren (Grammatik, schriftlicher Ausdruck usw.).

教： Unterrichtsmaterialien: Aktuelle Zeitungsberichte, Bücher, Filme usw. Die Materialien werden von der Kursleiterin gestellt, die Studenten sind aber aufgefordert, Vorschläge zu interessanten Texten/Themen zu machen.

他： Sie richtet sich nach aktiver Unterrichtsteilnahme, Anfertigung schriftlicher Hausaufgaben, Referaten und regelmäßiger Anwesenheit im Unterricht.

理

ドイツ語基礎１（春・火３）

２単位　春学期　　モイテン，　ブリギッテ

Spaß am Sprachspiel「楽しいことば遊び」

【授業内容】

In dem Kurs „Deutsch Grundlage 1“ lernen die Studenten elementare Strukturen der deutschen Sprache. Kommunikative Fähigkeiten (Hören, Sprechen, Lesen, Schreiben) sollen erworben, eingeübt und erweitert werden. Am Ende des Kurses sollen die Studenten einfache Gespräche über Alltagssituationen führen sowie über die behandelten Thema auch schreiben können. Anhand der im Übungsbuch („Wir. Grundkurs Deutsch für junge Lerner. Lehrbuch 2“) angebotenen Themenbereiche werden Grundstrukturen deutscher Sprache erlernt, der Wortschatz erweitert, sowie grammatische Kenntnisse erworben.

Zur Festigung der im Unterricht erworbenen Fähigkeiten und Übung der Rechtschreibung wird zu Beginn einer jeden Stunde entweder ein Kurztext (ca. 8 Min.) oder eine mündliche Wiederholung (ca. 10-15 Min.) vorgenommen.

この「ドイツ語基礎 1」の講座ではドイツ語の基本的構造を学びます。「聴く、話す、読む、書く」というコミュニケーション能力を習得し、練習し、開拓してゆきます。

修了時には、日常の様々な場面についての簡単な会話ができるようになり、また採り上げたテーマについて書くこともできるようになるでしょう。

テキスト („Wir. Grundkurs Deutsch für junge Lerner. Lehrbuch 2“) に出現する様々なテーマ領域に添って練習問題を行うことにより、ドイツ語の基礎を学び、語彙を増やし、また文法的知識を習得します。

授業で獲得した能力、及び正しく書く練習の成果を確かなものにするために、毎時間、授業の始めに小テスト（約８分間）を行うか、あるいは口頭反復練習（約 10～15 分間）を行います。

【教科書】

„Wir“ (Grundkurs Deutsch für junge Lerner), Lehrbuch 2, Klett Verlag, 2003 Edition

【参考書】

授業中に指示します。

【授業計画】

Grundkursunterricht mit dem Übungsbuch: „Wir“ (Lehrbuch 2)

1. Stunde: Einführung, Wiederholung, Gegenseitiges Kennenlernen
2. Stunde: Modul 4, Lektion1: Kannst Du inline skaten? (1)
3. Stunde: Modul 4, Lektion1: Kannst Du inline skaten? (2)
4. Stunde: Modul 4, Lektion2: Wohin fährst du in Urlaub? (1)
5. Stunde: Modul 4, Lektion2: Wohin fährst du in Urlaub? (2)
6. Stunde: Modul 4, Lektion3: Alles Gute zum Geburtstag. (1)
7. Stunde: Modul 4, Lektion3: Alles Gute zum Geburtstag. (2)
8. Stunde: Modul 5, Lektion1: Mir tut der Kopf weh. (1)
9. Stunde: Modul 5, Lektion1: Mir tut der Kopf weh. (2)
10. Stunde: Modul 5, Lektion2: Gesund leben. (1)
11. Stunde: Modul 5, Lektion2: Gesund leben. (2)
12. Stunde: Modul 5, Lektion3: Tina hat sich wehgetan. (1)
13. Stunde: Abschlusstest.

教科書の以下の順序に従い、練習問題中心の「ドイツ語基礎」の授業を行います。

第一回　導入、復習、互いの自己紹介
第二回　モジュール　4　第１課　：　「ローラースケートできる？」(1)
第三回　モジュール　4　第１課　：　「ローラースケートできる？」(2)
第四回　モジュール　4　第２課　：　「休暇にどこへ行くの」(1)
第五回　モジュール　4　第２課　：　「休暇にどこへ行くの」(2)
第六回　モジュール　4　第３課　：　「お誕生日おめでとう」(1)
第七回　モジュール　4　第３課　：　「お誕生日おめでとう」(2)
第八回　モジュール　5　第１課　：　「頭が痛い」(1)
第九回　モジュール　5　第１課　：　「頭が痛い」(2)
第十回　モジュール　5　第２課　：　「健康生活」(1)
第十一回　モジュール　5　第２課　：　「健康生活」(2)
第十二回　モジュール　5　第３課　：　「ティナが怪我をした」(1)
第十三回　期末テスト

【学生へのメッセージ】

楽しく、元気に、積極的に参加して下さい。

秋学期の「ドイツ語スピーキング 1」と合わせての受講をお勧めしますが、この「ドイツ語基礎 1」のみの受講も歓迎します。

【評価方法】

小テスト、中間テスト、期末テスト等で評価します。

【質問・相談】

授業中、授業後。

ドイツ語スピーキング１（秋・火３）

２単位　秋学期　　モイテン，　ブリギッテ

Spaß am Sprachspiel「楽しいことば遊び」」

【授業内容】

In dem Kurs „Deutsch Speaking 1“, zu dem auch neue Studenten herzlich eingeladen sind, sollen kommunikative Fähigkeiten erworben, einbgeübt und ausgebaut werden. Die Betonung liegt dabei auf dem Sprechen und Hören.　Am Ende des Kurses sollen die Studenten in der Lage sein, einfache Gespräche zur Beherrschung von Alltagssituationen zu führen sowie über die behandelten Thema auch kleinere Texte zu verfassen. Anhand der im Übungsbuch („Wir. Grundkurs Deutsch für junge Lerner. Lehrbuch 2“) angebotenen Themenbereiche werden Grundstrukturen deutscher Sprache erlernt, der Wortschatz erweitert, sowie grammatische Kenntnisse erworben. Zur Festigung der im Unterricht erworbenen Fähigkeiten und Übung der Rechtschreibung wird zu Beginn einer jeden Stunde eine mündliche Wiederholung (ca. 10-15 Min.) vorgenommen.

この「ドイツ語スピーキング１」の講座ではドイツ語のコミュニケーション能力を習得し、練習し、強化してゆきます。力点はその際「話すこと」と「聴くこと」に置かれます。（春学期の「ドイツ語基礎１」と合わせての受講をお勧めしますが、この「ドイツ語スピーキング１」のみの受講も歓迎します。）

修了時には、日常の様々な場面についての簡単な会話をマスターすることができるようになり、また採り上げたテーマについて短いまとまった文章を書くことができるようになるでしょう。

テキスト（„Wir. Grundkurs Deutsch für junge Lerner. Lehrbuch 2“）に出現する様々なテーマ領域に添って練習問題を行うことにより、ドイツ語の基本構造を学び、語彙を増やし、また文法的知識を習得します。

授業で獲得した能力、及び正しく書く練習の成果を確かなものにするために、毎時間、授業の始めに口頭反復練習（約10～15分間）を行います。

【教科書】

„Wir“ (Grundkurs Deutsch für junge Lerner), Lehrbuch 2, Klett Verlag, 2003 Edition

【授業計画】

Konversationsunterricht mit dem Übungsbuch: „Wir“ (Lehrbuch 2)

1. Stunde:　Wiederholung
2. Stunde:　Wiederholung
3. Stunde:　Modul 5, Lektion3 Tina hat sich wehgetan. (1)
4. Stunde:　Modul 5, Lektion3 Tina hat sich wehgetan. (2)
5. Stunde:　Modul 6, Lektion1 Wo ist denn hier ...? (1)
6. Stunde:　Modul 6, Lektion1 Wo ist denn hier ...? (2)
7. Stunde:　Modul 6, Lektion2 Hast du Lust, ins Kino zu gehen? (1)
8. Stunde:　Modul 6, Lektion2 Hast du Lust, ins Kino zu gehen? (2)
9. Stunde:　Modul 6, Lektion3 Ordnung muss sein! (1)
10. Stunde:　Modul 6, Lektion3 Ordnung muss sein! (2)
11. Reisen in Deutschland (1)
12. Reisen in Deutschland (2)

13. Abschlusstest

教科書の以下の順序に従い、練習問題中心の「ドイツ語スピーキング」の授業を行います。

第一回　復習

第二回　復習

第三回　モジュール　5　第３課　：　「ティナが怪我をした」⑴

第四回　モジュール　5　第３課　：　「ティナが怪我をした」⑵

第五回　モジュール　6　第１課　：　「...はどこにありますか？」⑴

第六回　モジュール　6　第１課　：　「...はどこにありますか？」⑵

第七回　モジュール　6　第２課　：　「映画にいかない？」⑴

第八回　モジュール　6　第２課　：　「映画にいかない？」⑵

第九回　モジュール　6　第３課　：　「整理整頓！」⑴

第十回　モジュール　6　第３課　：　「整理整頓！」⑵

第十一回　ドイツの旅（⑴

第十二回　ドイツの旅（⑵

第十三回　期末テスト

【学生へのメッセージ】

楽しく、元気に、積極的に参加して下さい。

春学期の「ドイツ語基礎１」と合わせての受講をお勧めしますが、この「ドイツ語スピーキング 1」のみの受講も歓迎します。

【評価方法】

小テスト、中間テスト、期末テスト等で評価します。

【質問・相談】

授業中、授業後。

ドイツ語トレーニング１（春・火３）

２単位　春学期　　**北條　彰宏**

【授業内容】

ドイツ語トレーニングは、必修科目のドイツ語１・２・３・４（既習者クラスを除く）を履修する１年生のための週１コマのコースです。ドイツ語トレーニング１（春学期）・ドイツ語トレーニング２（秋学期）では、発音・聴き取りの練習を繰り返しながらドイツ語の音声の基本的骨格を正しく身につけると同時に、基本語彙と初歩的な表現を習得することを目指します。２年次以降もドイツ語を続けて学習しようという意欲ある学生諸君の参加を期待します。

【教科書】

開講時に指示します。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【授業計画】

外国語の授業では、相互に複雑に関係し合っている諸項目・体系を毎回の授業で積み重ね反復しながら扱わねばならないので、一回ごとの授業内容を個々に予め記載することは不可能です。従って以下では、授業で扱われる項目を列挙するに留めますが、各項目の順序は授業で扱う順序と必ずしも一致しませんので、その点もご理解下さい。

1) ドイツ語の母音と子音の発音・聴き取り
2) ドイツ語の綴り字の正しい読み方
3) 動詞の現在・過去人称変化
4) 名詞・代名詞の格変化（冠詞類の基本的用法）
5) 疑問表現と否定表現（文抑揚とアクセント）
6) 前置詞の空間的・時間的用法の基本と格
7) 話法の助動詞を使用した簡単な日常表現
8) まとまりのある簡単な Text の聴き取り訓練

【学生へのメッセージ】

語学力を着実に身につけるためには毎回の予習・復習を根気よく継続する必要があるのは無論ですが、この授業は演習形式で進められますので、履修者全員が授業中に積極的な態度で演習に臨まなければ授業は機能しませんし、諸君の語学力は上達しません。授業中は多少の間違いなど恐れず積極的に発声し、履修者全員が励まし合って上達してゆくような明るい雰囲気を作るよう心がけて下さい。また、この科目が目標とする教育効果を達成するため、トレーニング 1（春学期）とトレーニング 2（秋学期）をペアで履修することを強く推奨します。僅か半年だけの演習では後に残るような語学力は身につきません。

履修希望者は必ずガイダンス期間中の第 1 回目の授業に出てガイダンスを受けて下さい。

【評価方法】

試験は毎回授業の冒頭で行います。試験の内容・範囲についてはその都度事前に教室で通知します。成績評価は取得した試験成績の合計に基づき行われます。

【質問・相談】

履修についての相談は、ガイダンス期間中に担当教員が受け付けますので、遠慮なく申し出てください。また、ドイツ語学習についての質問・相談も大歓迎です。最初の授業で担当教員の相談受付曜日・時限・場所を知らせますので、遠慮なく気軽に担当教員に申し出てください。

ドイツ語トレーニング 1（春・月 3）

2 単位　春学期　　**モイテン，　ブリギッテ**

Spaß am Sprachspiel「楽しいことば遊び」

【授業内容】

Die Studenten sollen in diesem Kurs vor allem eine korrekte Aussprache ewerben sowie elementare Grundformen erlernen. Am Ende des Kurses sollten sie einfache Informtionen zu ihrer Person (Alter, Hobby, Familie usw.) auf Deutsch schriftlich und mündlich korrekt formulieren können. Anhand der im Übungsbuch angebotenen Übungen sowie mit freien Dialogspielen werden einfache Grundstrukturen geübt. Zur Festigung von Grammatik, Rechtschreibung und Wortschatz wird zu Beginn jeder Stunde ein kleiner Test (ca. 10 Min.) durchgeführt.

この講座では特に、正しい発音を身に付け、基礎となる基本文型の習得を目指します。修了時には身の周りの簡単な情報（例えば、年齢、趣味、家族等）を、ドイツ語で正しく表現し、書き、話すことができるでしょう。テキストに添った練習問題を行うことにより、また自由な対話遊びを行うことにより、簡単な表現の基本構造を練習します。

文法・作文・語彙の習得を確かなものにするために、毎時間、授業の始めに小テスト（約 10 分間）を行います。

【教科書】

„Wir“ (Grundkurs Deutsch für junge Lerner), Lehrbuch 2, Klett Verlag, 2003 Edition

【参考書】

授業中に指示します。

【授業計画】

Konversationsunterricht mit dem Übungsbuch: „Wir“ (Lehrbuch 1)

1: Modul 1 / Lektion 1 : Hallo ! (1)
2: Modul 1 / Lektion 1 : Hallo ! (2)
3: Modul 1 / Lektion 2 : Das ist meine Familie (1)
4: Modul 1 / Lektion 2 : Das ist meine Familie (2)
5: Modul 1 / Lektion 3 : Hast du Geschwister? (1)
6: Modul 1 / Lektion 3 : Hast du Geschwister? (2)
7: Test // Modul 1 / Lektion 4 : Wo wohnt ihr? (1)
8: Modul 1 / Lektion 4 : Wo wohnt ihr? (2)
9: Modul 2 / Lektion 1 : Das Haus von Familie Weigel (1)
10: Modul 2 / Lektion 1 : Das Haus von Familie Weigel (2)
11: Modul 2 / Lektion 2 : Ein Besuch (1)
12: Modul 2 / Lektion 2 : Ein Besuch (2)
13: Abschlusstest

教科書の以下の順序に従い、練習問題中心のドイツ語会話の授業を行います。

第一回　モジュール　1　第１課　：　「ハロー！」(1)
第二回　モジュール　1　第１課　：　「ハロー！」(2)
第三回　モジュール　1　第２課　：　「これが私の家族です」(1)
第四回　モジュール　1　第２課　：　「これが私の家族です」(2)
第五回　モジュール　1　第３課　：　「兄弟姉妹はいますか」(1)
第六回　モジュール　1　第３課　：　「兄弟姉妹はいますか」(2)
第七回　テスト／モジュール　1　第４課　：　「君たちどこに住んでいるの」(1)
第八回　モジュール　1　第４課　：　「君たちどこに住んでいるの」(2)
第九回　モジュール　2　第１課　：　「ヴァイゲル家の家」(1)
第十回　モジュール　2　第１課　：　「ヴァイゲル家の家」(2)
第十一回　モジュール　2　第２課　：　「ある訪問」(1)
第十二回　モジュール　2　第２課　：　「ある訪問」(2)
第十三回　期末テスト

【学生へのメッセージ】

楽しく、元気に、積極的に参加して下さい。

【評価方法】

小テスト、中間テスト、期末テスト等で評価します。

【質問・相談】

授業中、授業後。

ドイツ語トレーニング２（秋・火３）

２単位　秋学期　　北條　彰宏

【授業内容】

ドイツ語トレーニングは、必修科目のドイツ語１・２・３・４（既習者クラスを除く）を履修する１年生のための週１コマのコースです。ドイツ語トレーニング１（春学期）・ドイツ語トレーニング２（秋学期）では、発音・聴き取りの訓練を繰り返しながらドイツ語の音声の基本的骨格を正しく身につけると同時に、基本語彙と初歩的な日常表現を習得することを目指します。２年次以降もドイツ語を続けて学習しようという意欲のある学生諸君の参加を期待します。

【教科書】

開講時に指示します。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【授業計画】

外国の授業では、その特質ゆえに一回ごとの授業内容・計画を個々に予め記載することは不可能ですので、以下では授業で扱われる項目を列挙するに留めます。その際、各項目の順序は授業で扱う順序とは必ずしも一致しませんので、ご注意ください。また、ドイツ語トレーニング１（春学期）の授業計画も参照してください：

1）現在完了の基本的用法
2）受動表現の基本
3）基本的な連記動詞とアクセント
4）再帰表現の基本原理
5）前置詞の抽象的用法の基本と格
6）副文を用いた基本的表現と文抑揚
7）zu 不定詞句の基本的用法
8）まとまりのある簡単な Text の聴き取り訓練

【学生へのメッセージ】

毎回の授業では、積極的な姿勢で演習に臨むよう心がけて下さい。言語は、基本的には、音声です。積極的に声を出して話そうとしなければ聴き取れるようになれませんし、緊張してドイツ語を聴き聴覚を訓練しなければ、話せるようにもなりません。多少の間違いなど気にせず、皆で大きな声で積極的に発声しましょう。ただし、授業と関係の無い私語はご遠慮下さい。ドイツ語で私語をやってくれるのならば話しは別ですが。

履修希望者は必ずガイダンス期間中の第１回目の授業に出てガイダンスを受けて下さい。

ドイツ語トレーニング２（秋・月３）

２単位　秋学期　　モイテン，　ブリギッテ

Spaß am Sprachspiel 「楽しいことば遊び」

【授業内容】

Die Studenten sollen in diesem Kurs vor allem eine korrekte Aussprache ewerben sowie elementare Grundformen erlernen. Am Ende des Kurses sollten sie einfache Informtionen zu ihrer Person (Alter, Hobby, Familie usw.) auf Deutsch schriftlich und mündlich korrekt formulieren können. Anhand der im Übungsbuch angebotenen Übungen sowie mit freien

Dialogspielen werden einfache Grundstrukturen geübt. Zur Festigung von Grammatik, Rechtschreibung und Wortschatz wird zu Beginn jeder Stunde ein kleiner Test (ca. 10 Min.) durchgeführt.

この講座では特に、正しい発音を身に付け、基礎となる基本文型の習得を目指します。修了時には身の周りの簡単な情報（例えば、年齢、趣味、家族等）を、ドイツ語で正しく表現し、書き、話すことができるでしょう。テキストに添った練習問題を行うことにより、また自由な対話遊びを行うことにより、簡単な表現の基本構造を練習します。

文法・作文・語彙の習得を確かなものにするために、毎時間、授業の始めに小テスト（約 10 分間）を行います。

【教科書】

„Wir“ (Grundkurs Deutsch für junge Lerner), Lehrbuch 2, Klett Verlag, 2003 Edition

【参考書】

授業中に指示します。

【授業計画】

Konversationsunterricht mit dem Übungsbuch: „Wir“ (Lehrbuch 1)

1: Modul 2 / Lektion 3 : Mautzi, unsere Katze (1)
2: Modul 2/ Lektion 3 : Mautzi, unsere Katze (2)
3: Modul 2 / Lektion 4 : Die Nachbarn von Familie Weigel (1)
4: Modul 2 / Lektion 4 : Die Nachbarn von Familie Weigel (2)
5: Modul 3 / Lektion 1 : Was isst du in der Pause? (1)
6: Modul 3 / Lektion 1 : Was isst du in der Pause? (2)
7: Test // Modul 3 / Lektion 2 : Meine Schulsachen (1)
8: Modul 3 / Lektion 2 : Meine Schulsachen (2)
9: Modul 3 / Lektion 3 : Was gibt es im Fernsehen? (1)
10: Modul 3 / Lektion 3 : Was gibt es im Fernsehen? (2)
11: Modul3 / Lektion 4 : Um wie viel Uhr stehst du auf? (1)
12: Modul 3 / Lektion 4 : Um wie viel Uhr stehst du auf? (2)
13: Abschlusstest

教科書の以下の順序に従い、練習問題中心のドイツ語会話の授業を行います。

第一回　モジュール　2　第３課　：　「我々の猫、マウツィ」(1)
第二回　モジュール　2　第３課　：　「我々の猫、マウツィ」(2)
第三回　モジュール　2　第４課　：　「ヴァイゲル家の隣人たち」(1)
第四回　モジュール　2　第４課　：　「ヴァイゲル家の隣人たち」(2)
第五回　モジュール　3　第１課　：　「休憩時間に何を食べる」(1)
第六回　モジュール　3　第１課　：　「休憩時間に何を食べる」(2)
第七回　テスト／モジュール　3　第２課　：　「私の学校で使うもの」(1)
第八回　モジュール　3　第２課　：　「私の学校で使うもの」(2)
第九回　モジュール　3　第３課　：　「テレヴィで何やってる」(1)
第十回　モジュール　3　第３課　：　「テレヴィで何やってる」(2)
第十一回　モジュール　3　第４課　：　「君は何時に起きるの」(1)
第十二回　モジュール　3　第４課　：　「君は何時に起きるの」(2)

第十三回　期末テスト

【学生へのメッセージ】

楽しく、元気に、積極的に参加して下さい。

【評価方法】

小テスト、中間テスト、期末テスト等で評価します。

【質問・相談】

授業中、授業後。

ドイツ語セミ・インテンシブ１（春・火３、木３）

4 単位　春学期　　**小林　邦夫**

「楽しく学ぶドイツ語」Deutsch mit Spaß

【授業内容】

一年間かけて学んだドイツ語の基礎を、そのままゴミ箱の中に捨てるのはなんとも勿体無い。そんな諸君の為の、「ドイツ語と付き合う法」を学ぶのが当講座です。「遊びながら」をモットーに、兎も角ドイツ語を楽しく習得するお手伝いをします。例えば；子供の歌や、有名なドイツリート等、ドイツ語を歌いながら覚えたり、グループに別れて、ドイツ語でゲームをしたり……。勿論テキストに従って、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の基礎を勉強することを念頭に入れています。古典的な「文学作品」のさわりを読んだり、仮想ドイツ人の友人に「手紙」（E－メール）を書いたり、場面に応じた「問いかけ」と「受け答え」を中心に、「かたことドイツ語」が話せるように練習します。「継続は力なり」、時間をかけてドイツ語に親しむことが大切です。

【教科書】

„Delfin“ （Teil 1）, Hueber

改訂版「独検合格単語＋熟語 1800」在間進／亀ヶ谷昌秀共著　第三書房

【参考書】

授業中に指示します。

【授業計画】

全てドイツ語で書かれたテキスト、„Delfin“（Teil 1）（「海豚」第一部）を主要テキストとして使用します。このテキストはそれぞれの課が、

①イラストを用いた、その課のテーマの導入部である「潜入」（Eintauchen）（海豚がドイツ語の海に潜ること）

②身近なテーマが描かれている「読む」（Lesen）

③ドイツ人の自然な速さの対話を聴くことにより、耳を慣らす「聴く」（Hören）

④発音練習と、基本的な具体的場面に応じた対話のパターンを練習する「話す」（Sprechen）

⑤ ディクテーションと、簡単な日常的、実用的な用件を伝える「書く」（Schreiben）

以上の 5 部構成になっています。また、イラストも沢山あり、飽きずに、楽しく、遊びながらドイツ語に馴染むように工夫されて書かれています。10 課までありますので、春学期は 1 課から 5 課、秋学期は 6 課から 10 課までを勉強する予定で進みます。

その他に、

①授業開始時に、毎回行う単語試験（約 10 分）。単語だけではなく、できるだけ例文に挙げられたドイツ語の文章を覚えてもらいます。

②ヴァレンツ理論（Valenz-Theorie）を用いた文型中心の作文練習。11 の基本文型をしっかり学習します。

③テキストの中に含まれた「読み物」とは別に、ドイツの古典的名作の鑑賞。有名な作品のさわりを読みます。

④テーマを決めて、その範囲内で自由に書いてもらう「自由作文」。添削し、編集して、一年間の授業終了時には、一冊の「冊子」を創る予定。

以上の内容を、週２回の授業で組み合わせて行う予定です。従って、春のみ、秋のみの選択ではなく、通年で臨んで欲しいと希望しています。海豚は賢い動物です。人間のように互いにコミュニケーションを図っているとも言われていますね。海豚のようにドイツ語の海の中を自由に泳ぐことができるように、焦らずに、ゆっくりと、少しずつドイツ語の海に慣れて行きましょう。

【学生へのメッセージ】

積極的に参加することが肝要。出席重視。

【評価方法】

平常の小テストと勉学姿勢。

【質問・相談】

授業中、授業後、研究室、メール等で受付けます。

ドイツ語セミ・インテンシブ１（春・月３、水３）

４単位　春学期　　**佐藤　俊郎**

ドイツ語の読解力と表現力を身につける。

「ドイツを読んで、ドイツを語ろう!」

【授業内容】

この授業ではドイツ語の骨組みを再確認しながら、読みを通してワンランク上のドイツ語運用力習得を目指します。テキストには現代ドイツを伝えるいろいろな事象が盛りだくさん。ヨーロッパとは何？から始まり、音楽、メールと携帯電話、大学、多文化社会、食事、環境、芸術など大変興味深い。

テキストの構成は、読解のポイント、内容理解と文法事項についての問題、そして作文と聞き取り等々、実にバラエティーに富んで私達を飽きさせません。表現力は文法力と読解力があってはじめて可能というコンセプトに、コミュニケーションのための必須事項も十分取り扱われています。 読んで、書いて、聞いて話す。一緒に学びませんか？

その他適宜、ビデオやインタ-ネット上の記事を副教材として利用します。当該する読章に関する新聞あるいは出版物を通して現代ドイツの生情報にも触れるつもりです。ドイツ旅行を計画している諸君、独検を目標にしている諸君、ドイツ語を使って大いに異文化理解を深めたい諸君、そして教養を高めたい諸君等々はこの授業を取るべきでしょう。なお単語力を強化するため単語の小テストを毎週実施します。

【教科書】

必ず購入するもの：

「CD 付き　現代ドイツを学ぶための 10 章」

和泉/三ツ石/Schmidt/Duppel-kayama 共著　三修社

「改訂版　独検合格　単語 + 熟語 1800」

在間進/亀ヶ谷昌秀　共著　第三書房

【参考書】

あったら必ず役に立つもの：

改訂版「必携ドイツ文法総まとめ」 中島/平尾/朝倉共著　白水社

「CD 付き　コレクションドイツ語　書く」 岡村三郎著　白水社

「NHK ラジオ講座 まいにちドイツ語」　2009 年 4 月号～（特に応用編）

「中級ドイツ語のしくみ」　清野智昭著　白水社
「ドイツのことばと文化事典」　小塩　節著　講談社学術文庫

【授業計画】

（1 を除き各課は 2～3 回の授業で終了予定）

Kapital　1　ガイダンス/授業方針と勉学の仕方
2　ヨーロッパ、ヨーロッパ
3　音楽
4　Exkurs　<補足>
5　メールと携帯電話
6　ショッピング
7　学業
8　Exkurs　<補足>

【学生へのメッセージ】

異文化コミュニケーションに興味があり、社会全般の事象に関心を持つ学生諸君の参加を希望します。履修者には授業の予習が求められます。ドイツ旅行や短期の語学留学等を計画している学生諸君には大いに参考となるでしょう。ドイツ語検定 2/3 級への挑戦者は大歓迎。

【評価方法】

春・秋学期の計 2 回の授業内試験（×100）と平常点を総合的に考慮し評価します。

【質問・相談】

授業中の質問はいつでも歓迎します。「先生、そこのところはよく判りません」という質問ほど教師を奮い立たせるものはありません。「聞くは一時（いっとき）の恥、聞かぬは末代の恥」なんて言葉もありますよ。

勉強の仕方に関する質問、相談などは授業の後でも、いつでも受け付けます。気楽に自由に声をかけてください。

ドイツ語セミ・インテンシブ 1（春・月 3、水 3）

4 単位　春学期　　**北條　彰宏**

【授業内容】

この科目は、原則として、1 年次で必修ドイツ語 1・2・3・4 を履修した学生、またはドイツ語の基礎文法全般を既に一応習得している学生を対象としていますが、意欲のある学生であれば多少基礎力が欠けていても歓迎します。

ドイツ語セミ・インテンシブ 1 では、既に学んだ基礎文法の知識を土台に語彙力と文法の知識を着実に増やし、ドイツ語による表現力を高めることを目指します。授業では作文演習が中心となりますが、聴き取りの訓練も適宜行う予定です。

【教科書】

ガイダンスにおいて指示しますので、履修が許可されるまでは購入しないように注意してください。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【授業計画】

ドイツ語セミ・インテンシブでは、以下の項目を取り上げます。

1）不定詞の用法。
2）蓋然性の表現法。

3）比較表現。
4）知覚動詞。
5）受動表現。
6）2 格の述語用法。
7）従属接続詞の用法。
8）zu 不定詞句の用法。
9）前置詞を用いた慣用表現。
10）再帰表現。
11）3 格の用法。
12）指示代名詞の用法。
13）関係文。
14）前置詞付き目的語を伴う動詞。
15）認容表現。
16）接続法の用法。

【学生へのメッセージ】

ドイツ語を習得することに貪欲な諸君が参加することを期待しています。この授業では敢えて厳しい方針を選び、毎回多量の予習を課し、毎回試験を行います。毎回の復習にも相当の負担がかかると思います。したがって、勉強嫌いで根気が続かない諸君にはこの授業をお勧めできません。なお、僅か半年の学習ではドイツ語の語学力は身に付きませんので、ドイツ語セミ・インテンシブ 1 と 2 をペアで履修することを強く勧めます。

【評価方法】

試験成績のみで決定します。取得した成績の平均点が 55 点を下回った場合には D がつくと思ってください。

【質問・相談】

随時受け付けますので、遠慮なく申し出てください。

ドイツ語セミ・インテンシブ 2（秋・火 3、木 3）

4 単位　春学期／秋学期　　**小林　邦夫**

「楽しく学ぶドイツ語」Deutsch mit Spaß

【授業内容】

一年間かけて学んだドイツ語の基礎を、そのままゴミ箱の中に捨てるのはなんとも勿体無い。そんな諸君の為の、「ドイツ語と付き合う法」を学ぶのが当講座です。「遊びながら」をモットーに、兎も角ドイツ語を楽しく習得するお手伝いをします。例えば；子供の歌や、有名なドイツリート等、ドイツ語を歌いながら覚えたり、グループに別れて、ドイツ語でゲームをしたり……。勿論テキストに従って、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の基礎を勉強することを念頭に入れています。古典的な「文学作品」のさわりを読んだり、仮想ドイツ人の友人に「手紙」（E－メール）を書いたり、場面に応じた「問いかけ」と「受け答え」を中心に、「かたことドイツ語」が話せるように練習します。「継続は力なり」、時間をかけてドイツ語に親しむことが大切です。

【教科書】

„Delfin“ （Teil 1）, Hueber

改訂版「独検合格単語＋熟語 1800」在間進／亀ヶ谷昌秀共著　第三書房

【参考書】

授業中に指示します。

【授業計画】

全てドイツ語で書かれたテキスト、„Delfin“（Teil 1）（「海豚」第一部）を主要テキストとして使用します。このテキストはそれぞれの課が、

①イラストを用いた、その課のテーマの導入部である「潜入」（Eintauchen）（海豚がドイツ語の海に潜ること）

②身近なテーマが描かれている「読む」（Lesen）

③ドイツ人の自然な速さの対話を聴くことにより、耳を慣らす「聴く」（Hören）

④発音練習と、基本的な具体的場面に応じた対話のパターンを練習する「話す」（Sprechen）

⑤ ディクテーションと、簡単な日常的、実用的な用件を伝える「書く」（Schreiben）

以上の 5 部構成になっています。また、イラストも沢山あり、飽きずに、楽しく、遊びながらドイツ語に馴染むように工夫されて書かれています。10 課までありますので、春学期は 1 課から 5 課、秋学期は 6 課から 10 課までを勉強する予定で進みます。

その他に、

①授業開始時に、毎回行う単語試験（約 10 分）。単語だけではなく、できるだけ例文に挙げられたドイツ語の文章を覚えてもらいます。

②ヴァレンツ理論（Valenz-Theorie）を用いた文型中心の作文練習。11 の基本文型をしっかり学習します。

③テキストの中に含まれた「読み物」とは別に、ドイツの古典的名作の鑑賞。有名な作品のさわりを読みます。

④テーマを決めて、その範囲内で自由に書いてもらう「自由作文」。添削し、編集して、一年間の授業終了時には、一冊の「冊子」を創る予定。

以上の内容を、週 2 回の授業で組み合わせて行う予定です。従って、春のみ、秋のみの選択ではなく、通年で臨んで欲しいと希望しています。海豚は賢い動物です。人間のように互いにコミュニケーションを図っているとも言われていますね。海豚のようにドイツ語の海の中を自由に泳ぐことができるように、焦らずに、ゆっくりと、少しずつドイツ語の海に慣れて行きましょう。

【学生へのメッセージ】

積極的に参加することが肝要。出席重視。

【評価方法】

平常の小テストと勉学姿勢。

【質問・相談】

授業中、授業後、研究室、メール等で受付けます。

ドイツ語セミ・インテンシブ 2（秋・月 3、水 3）

4 単位　秋学期　　**佐藤　俊郎**

ドイツ語の読解力と表現力を身につける。

「ドイツを読んで、ドイツを語ろう!」

【授業内容】

春学期のドイツ語セミ・インテンシブ 1 の継続科目で授業の目標、方針、進め方そしてテキストは春と同じです。前述の内容を参照して下さい。

テキストを「読む」とは単に「訳す」ことだけを意味するものではありません。ドイツ語の単語と文法の知識を総動員して、それぞれの文章が扱っているテーマや文化的思想的な背景を含めて、文脈の中で日本語としてきちんと理解するということです。

読解のための基礎的な技術から中級のための文法知識の応用まで、文法の復習を平行しながらしっかり学んで行

きたいと思います。秋学期からの履修も可能ですが、学習の成果を挙げるためにも通年での受講を希望します。

【教科書】

必ず購入するもの：

「CD 付き　現代ドイツを学ぶための 10 章」

和泉/三ツ石/Schmidt/Duppel-kayama 共著　三修社

「改訂版　独検合格　単語 + 熟語 1800」

在間進/亀ヶ谷昌秀　共著　第三書房

【参考書】

あったら必ず役に立つもの：

改訂版「必携ドイツ文法総まとめ」　中島/平尾/朝倉共著　白水社

「CD 付き　コレクションドイツ語　書く」　岡村三郎著　白水社

「NHK ラジオ講座 まいにちドイツ語」　2009 年 4 月号～（特に応用編）

「中級ドイツ語のしくみ」　清野智昭著　白水社

「ドイツのことばと文化事典」　小塩　節著　講談社学術文庫

【授業計画】

春学期からの続きです

Kapital　9　多文化社会

10　食事

11　Exkurs　<補足>

12　環境

13　Exkurs　<補足>

14　芸術

15　年末/師走

【学生へのメッセージ】

異文化コミュニケーションに興味があり、社会全般の事象に関心を持つ学生諸君の参加を希望します。履修者には授業の予習が求められます。ドイツ旅行や短期の語学留学等を計画している学生諸君には大いに参考となるでしょう。ドイツ語検定 2/3 級への挑戦者は大歓迎。

【評価方法】

春・秋学期の計 2 回の授業内試験（×100）と平常点を総合的に考慮し評価します。

【質問・相談】

授業中の質問はいつでも歓迎します。「先生、そこのところはよく判りません」という質問ほど教師を奮い立たせるものはありません。「聞くは一時（いっとき）の恥、聞かぬは末代の恥」なんて言葉もありますよ。

勉強の仕方に関する質問、相談などは授業の後でも、いつでも受け付けます。気楽に自由に声をかけてください。

ドイツ語セミ・インテンシブ 2（秋・月 3、水 3）

4 単位　秋学期　　**北條　彰宏**

【授業内容】

この科目は、必修ドイツ語 1・2・3・4 を履修済みの学生、またはドイツ語の初級文法を一応習得している学生を対象としています。やる気と意欲のある諸君であれば多少基礎力に不安があっても歓迎しますので、担当者に遠慮なく相談してください。

ドイツ語セミ・インテンシブ２では、春学期のドイツ語セミ・インテンシブ１に引き続いてドイツ語に関する文法知識と語彙力・表現力を更に高めることを目標としています。授業は作文演習が中心となりますが、聴き取りと発音の練習も重視する予定です。また、ドイツ語検定３級を取得するための対策も授業に取り入れます。

【教科書】

ガイダンスにおいて指示しますので、履修が許可されるまでは購入しないように注意してください。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

【授業計画】

ドイツ語セミ・インテンシブ２では、以下の項目を取り上げる予定です。

1) 前置詞付き目的語を伴う形容詞。
2) zu 不定詞句を伴う重要表現。
3) es の様々な用法。
4) 不定関係代名詞。
5) 前置詞を用いた慣用表現。
6) 話法詞の用法。
7) 空間表現と方向表現。
8) 動詞前綴りの意味と構文。
9) 再帰表現。
10) 話法の助動詞。
11) 相関表現。
12) 不定詞を用いた表現。
13) 現在分詞と過去分詞の用法。
14) 自動詞の受動表現。
15) 状態受動。
16) 比較表現。
17) 否定表現。
18) 形容詞の名詞化。
19) 認容表現。
20) 接続法。
21) 心理・感覚表現。

【学生へのメッセージ】

意欲のある諸君の参加を期待します。甘く楽な勉強で簡単にドイツ語が身につくはずがありません。春学期のドイツ語セミ・インテンシブ１と同様、ドイツ語セミ・インテンシブ２でも多量の予習と復習が課され、試験は毎回行われます。ドイツ語の語学力を本気で身に付けたいと思う諸君は、この授業の辛さを当然のことと受け止めてくれるはずです。

中途半端な学習では結局何も後に残りませんから、ドイツ語セミ・インテンシブ１と２をペアで履修し、１年を通して集中的かつ継続的にドイツ語と取り組むことを強くお勧めします。

【評価方法】

試験成績のみで評価します。取得した試験成績の平均点が５５点を下回った場合は、単位をもらえないものと覚悟してください。

【質問・相談】

随時受け付けますので、遠慮なく何でも相談してください。

ドイツ語インテンシブ１（春・火３、水４、木３）
ドイツ語インテンシブ２（秋・火３、水４、木３）

６単位　春学期／秋学期　　**火３、木３：宮川　尚理, 水４：ブリール,　リタ**

【授業内容】

日吉に開設されているドイツ語インテンシブ・クラスでは、これまで習得した文法規則を使いながら、ドイツ語の運用能力、表現能力を身につけることを目標にしています。そのためにまず必要なことは、語彙（単なる単語力ではなく、「場」に応じて使い分ける能力）を増やすことであろうと考えます。日本人教員のもとでは、平易なテクストをたくさん読み、生活の様々な場面で使うべき表現を学ぶことになります。また、ネイティブ・スピーカー教員のもとでは、生きたドイツ語のシャワーを浴びながら、よりドイツ語らしい表現方法を習得することになります。「読む」、「書く」はもちろんのこと、「聞く」、「話す」能力もバランスよく身につけることを目指します。ドイツ語能力の目安となるドイツ語検定試験（3級・2級・準１級）の内容に準拠した指導も同時に行う予定です。ドイツ語インテンシブ１と２は継続科目として授業計画されていますので、継続して履修することを勧めます。

【教科書】

オリエンテーション時に指示します。

【参考書】

適宜授業中に紹介します。

【授業計画】

４月最初のオリエンテーションで説明します。

【学生へのメッセージ】

英語が必要最低限なツールとなりつつある現在、もうひとつの外国語をマスターすることは、逆に大きなメリットを得ることになります。ドイツ語インテンシブ・コースは、ドイツ語をある程度まで「使える言語」にするための第１歩です。２年次、３年次と継続して学習することによって、ドイツ語が学生ひとりひとりにとって、自己を表現することのできるひとつの可能性となると信じています。毎年、夏期休暇中にアーヘン工科大学で行われるサマー・スクールに参加して、身につけたドイツ語を実地で試してみるという可能性も開かれています。

【評価方法】

毎回行う単語確認試験、適宜、授業時間内に行う聞き取り試験、その他、提出課題などにもとづく総合評価。

【質問・相談】

いつでも歓迎します。研究室でもメールどちらでもO.K.です。

フランス語

経

フランス語Va／Vb（選択A）　－フランス語検定試験－　ガボリオ　マリ
火曜４時限

Ⅰ．①授業の目的および内容

この授業は、フランス語検定試験３級・準２級及び２級合格を目指す学生の為のものです。年間を通じて演習形式で行いますので、授業への出席と積極的な参加が不可欠です。

②成績評価基準

定期的に小テストを行い、平常点と出席状況、授業への参加度等を含めて総合的に評価を行います。

③授業における使用言語

フランス語と日本語

Ⅱ．テキスト：プリントを配布します

フランス語Va／Vb（選択A）　Conversation　前島　アンヌ＝マリー
月曜５時限

Ce cours se déroule entièrement en français et s'adresse aux étudiants qui veulent parler français.
La présence et la participation active au cours comptent pour l'évaluation.
Il n'y a ni livre ni support écrit, les étudiants sont invités à s'exprimer sur tout.

法

フランス語第Ⅳ（ＡⅠ）月５　EXPRESSION ORALE　アンリ，ナタリー

内容：　Ce cours est destiné aux étudiants ayant déjà un bon niveau de français, et plus spécialement à ceux ayant séjourné durant une certaine période dans un pays francophone. Le but est d'améliorer l'expression orale, pour une présentation concise et précise d'idées, personnelles ou autres.

Le travail peut se faire sous forme de lecture-commentaire, compte-rendu, débat, discussion, exposé, soit à partir de supports écrits ou visuels, soit à partir de recherches effectuées par les étudiants. Il est d'autre part possible d'intégrer l'étude de techniques écrites selon les besoins.

この授業は法学部フランス語入試合格者１－２年、帰国子女を主な対象とし、その他既習者の積極的参加を期待します。このクラスは、特に会話能力に関してＡＩのややレベルの高いクラスです。

㊎：　必要に応じてプリントを配布します。

他：　成績評価：平常点（授業態度による）

Une entrevue aura lieu en début d'année pour évaluer le niveau de langue.
Pour tout renseignement: naranara[at マーク]mb.infoweb.ne.jp

フランス語第Ⅳ（Ａⅰ）木３　Approfondir sa compréhension et son expression orales en français

ヴァンシンテヤン＝ディオ，カトリーヌ

内容： Ce cours s'adresse aux étudiants qui souhaitent améliorer leurs capacités d'écoute et d'expression orale et écrite en français courant.

A l'aide de courts documents radiophoniques et télévisés sur des sujets d'actualité, des exercices d'écoute systématiques seront proposés. Nous apprendrons ensuite à réutiliser le vocabulaire rencontré pour enfin entamer une discussion sur le thème.

教： Des photocopies seront distribuées.

参： Sur internet: Les clés de l'actualité, Podcast français facile, RFI

他： Evaluation en continu: présence en cours, devoirs écrits et petits tests.

フランス語第Ⅳ（Ａⅰ）金３　Cours de conversation "interactive"　マルグリエス，マルク＝ダニエル

内容： フランス語入試合格者と帰国子女を主な対象とした上級レベルのフランス語会話の授業です。授業はすべてフランス語でおこないます。２人ずつのグループ（または１人）で自由にテーマを選び、口頭発表をしてもらいます。誤りがあれば訂正し、そのあと全員で発表内容について質疑応答とディスカッションをおこないます。積極的に授業に参加することを望みます。

教： 教科書やプリント類は使用しません（ただし学生が発表用に用意する資料をのぞく）。ビデオをみて、その内容を授業のテーマに用いることも予定しています。

他： 単位の認定には、発表を少なくとも学期中に２回はおこなうことが条件となります。発表の内容に加えて、授業への積極的かつ継続的な参加も特に重視します。

Toutes celles et tous ceux qui désirent réellement parler français, dans une atmosphère cordiale et conviviale seront les bienvenus !

フランス語第Ⅳ（Ａⅰ）水４　新聞記事講読　春学期　朝吹 亮二

内容： 最新の Le Monde を読みます。新聞記事の文体は独特のものがありますが、多くを読むことによってすぐに慣れます。慣れれば新聞を読むことがおもしろくなるでしょう。フランス語受験合格者用クラスなので速読し、同時に文法の必要事項も復習します。詳細は初回の授業時に相談しますが、諸君の興味のある記事から読んでゆこうと思っています。

教： プリント配布

参： 中辞典以上の仏和辞典、仏仏辞典

他： 毎回の授業および学期末のペーパーテストの総合で評価します

フランス語第Ⅳ（Ａⅰ）水４　新聞記事講読　秋学期　大出　敦

内容： 春学期に引き続き、新聞記事の講読を行います。Le Monde のほかにフランス語で書かれた新聞の講読も考えています。フランスの現在を知ることで、世界を多元的な視点で捉えてみましょう。フランス語受験合格者用クラスなので速読と文法事項の復習が中心となりますが、記事を要約したり、論評したりする訓練も取り入れたいと思っています。

教： プリント配布

参： 中辞典以上の仏和辞典、仏仏辞典

他： 毎回の授業および学期末試験の総合で評価します

フランス語第Ⅳ（AⅡ）金２　　ヨーロッパの歴史　1945―1990　　井田 三夫

内容： ヨーロッパ共通歴史教科書として各国語に訳されている原書の最終章「分断から開放へ－（1945－1990）」のフランス語版抜粋を購読します。中級フランス語学習を通じて、戦後の東西分断から、89 年のベルリンの壁の崩壊、それに続くドイツ統一、あるいは 91 年のマーストリヒトＥＵ新統合条約に向かうまでのヨーロッパの政治・経済・歴史に触れます。このテキストの合間に(3 回に 1 回ほどの割合)、各種のジャーナリズム文、たとえば『ル・モンド』、『ル・モンド・ディプロマティック』、『ル・フィガロ』、『レクスプレス』、『ル・ヌーヴェル・オプセルヴァトール』といった新聞・雑誌から、フランスのアップトゥーデイトなものばかりでなく、興味深いものは少し古いものも取り入れながら、経済・政治・社会・文化にかかわる記事も読み、読解力と表現力の基礎の習得をめざします。

教： 『12 カ国の歴史家によるヨーロッパの歴史 1945－1990』（仏語版）（第三書房、三浦信孝編註）
・ジャーナリズム文のプリント教材は授業時、随時、配布します。

他： 必ず予習し、丹念に辞書を引いて内容を自分の頭で考えるのは無論、両テキストに出てくる使えそうな表現はなるべく暗記するよう心がけて下さい。ＥＵ問題などヨーロッパの政治・経済・歴史に興味のある受講生を歓迎します。

成績評価方法

1．試験の結果による評価　　（ 20％ ）
2．レポートによる評価　　（ 30％ ）
3．平常点：出席状況および授業態度による評価　　（ 50％ ）

質問・相談

授業直後またはメール（mida[at マーク]law.keio.ac.jp）で

フランス語第Ⅳ（AⅡ）水３
少しでもフランス語で話してみよう！自分らしくシンプルな会話をフランス語でやってみよう！　　齋藤 公一

内容： フランス語の初級文法はそこそこ習得してフランス語の仕組みについてはある程度理解ができると自信を持っているけれど、会話になると何となく自信がない、という人を対象にします。文法的な説明は最小限にして、フランス語で話す体験を積み重ねてフランス語で情報交換ができるようになりましょう。

音声教材がインターネットのサイトからダウンロードしたり、直接聞いたりできます。授業では音読もしていきます。

教： J-L・アズラ他『コンヴェルサスィオン・ダン・ラ・クラス―フォ・デビュタン 2007』（アルマ出版）

他： 欠席・遅刻をせず授業に参加するように。平常点と学期末の試験によって評価しますが、小テストも様子を見て適宜行う可能性があります。フランス語を学ぶ機会は年齢とともにどんどん少なくなっていきます。貴重な時間を上手に使ってください。

フランス語第Ⅳ（AⅡ）水４　　時事フランス語中級　　高橋 俊幸

内容： 既習者向けのレベルの高いクラスです。実際の新聞や雑誌、インターネットなどからフランス語の記事をピックアップしてそれを購読して行きます。

記事の選択に関しては、特定の分野に偏ることのないように、政治・経済から文化、医学にいたるまで、さ

まざまなものを取り上げる予定です。

もちろん文法が頭に入っていることが重要ですが、メディアで使われるフランス語は語彙や用法が独特なので、それに慣れることも肝腎です。毎回予習をして授業に臨むようにしてください。

㊎： プリントを配布

他： 試験および平常点。特に平常点を重視します。

フランス語第Ⅳ（AⅡ）月１　　フランス語を聴く・読む・話す　　ヴァリエンヌ，コリンヌ

内容： **授業の目的**

・これまでに学んだことを実践的な場面で応用すること。

・さまざまな場面に応じて日常的な会話の実践的練習をおこなうこと。

・聴解および読解のスキルを向上させること。

・ディスカッションして自分の意見を効果的に述べること。

授業の流れ

新聞記事・ビデオ・音声などさまざまなメディアから各回にひとつずつテーマを決め、まず、聴き取り／読み取りによる理解につとめます。インタビュー・街の声・対話など音声資料を用いる場合は、担当者が作成した参考資料をつけますので、口語フランス語を無理なく身につけることができるでしょう。新聞記事を取りあげる場合も、内容に関する質問リストに答える形をとりながら、記事の確実な読解につとめます。そしていずれの場合にも、テーマについてディスカッションし、口頭で意見を述べる力を養います。

㊎： 資料を教室で配布します。

他： 学期末の口頭試験の結果に、毎回の出席と平常点を加えて評価します。

フランス語第Ⅳ（AⅡ）金５　　旅のフランス語　　ボダン，エマニュエル

内容： フランスを旅行するときに役立つ実践的な会話を、さまざまなシチュエーションを想定して練習します。旅行者にとって必要な情報をフランス語で的確に得られるようになるのが目標です。間違いをおそれず、積極的に授業に参加してください。そのほかに、ときどきシャンソンを取り上げることも予定しています。

㊎： 資料を教室で配布します。

他： 成績は小テストと授業への参加によって評価します。

フランス語第Ⅳ（AⅡ）金４　Cours de conversation “interactive”　　マルグリエス，マルク＝ダニエル

内容： 中級レベルのフランス語会話の授業です。授業はすべてフランス語でおこないます。2 人ずつのグループ（または 1 人）で自由にテーマを選び、口頭発表をしてもらいます。誤りがあれば訂正し、そのあと全員で発表内容について質疑応答とディスカッションをおこないます。積極的に授業に参加することを望みます。

㊎： 教科書やプリント類は使用しません（ただし学生が発表用に用意する資料をのぞく）。ビデオをみて、その内容を授業のテーマに用いることも予定しています。

他： 単位の認定には、発表を少なくとも学期中に 2 回はおこなうことが条件となります。発表の内容に加えて、授業への積極的かつ継続的な参加も特に重視します。

Toutes celles et tous ceux qui désirent réellement parler français, dans une atmosphère cordiale et conviviale seront les bienvenus !

フランス語第Ⅳ（AⅡ）木４　　「女権宣言」を読む　　皆吉 郷平

内容：　分子生物学者（科学ライター）福岡伸一氏の『できそこないの男たち』（光文社新書）によると、生物学的に言えば、「人間は考える葦」ではなく「考える管」であり、「イブ（女）はアダム（男）の肋骨から創り出された」のではなく、「アダムこそがイブから創り出された」のだそうです。

ところで諸君は、フランス革命期に有名な「人権宣言」に対して、「女権宣言」を書いた女性をご存知ですか？オランプ・ドゥ・グージュ（1748～1793）という詩人・劇作家です。彼女は同宣言で、「女性は断頭台にのぼる権利がある。同様に演壇にのぼる権利をもたなければならない」と述べています。

今年は、このオランプ・ドゥ・グージュの「女権宣言」を中心に、「人権」ならぬ「女権」についてゆるゆると考えてゆきます。

教：　すべてプリント

理

フランス語スピーキング１（秋・月３）

２単位　秋学期　　**関　幸太郎**

「基礎会話の実践」

【授業内容】

基礎文法をある程度学習された学生、あるいは現在されている学生を対象とします。発音、発話、聴き取り、書き取りなど、総合的な会話の訓練を行います。受講される学生さんの人数が多いと、練習する機会や緊張感が乏しくなります。本当に会話を練習したい方だけをお待ちしております。

本講座にふさわしい学生：声を大きく出せる、恥をかいてもかまわない、人前で話すのを恐れない、物事を途中であきらめるのがキライ、あらゆる努力を惜しまない、リスク、スリルが墓碑銘、な学生。

本講座にふさわしくない学生：自分の世界を大事にしている。授業中、発言を求められるのが苦手。フランス語は好きだが、フランスへ行くつもりはあまり無い。フランス語に軽く触れてみたい。なんとなくいやされたい学生。

【教科書】

未定。

【参考書】

授業中に指示します。

【授業計画】

基礎的な会話力の習得を目標とする市販の教科書を選び、授業回数でページ数を割り、一冊を半期で終えるつもりです。

【学生へのメッセージ】

元気に参加していただける学生さんたちをお待ちしております。ガイダンスに必ず出席し、自分が本講座での学習に向いているかどうか、確認をとること。

【評価方法】

毎回の授業で提出する宿題の質、毎回の授業での小テストの結果、授業参加の頻度、その質、学期末試験の結果。

フランス語トレーニング 1（春・月 3）

2 単位　春学期　　**荒金　直人**

「発音のトレーニング①」

【授業内容】

フランス語の発音の規則の確認と発音練習を行います。

すでにフランス語の学習歴（独学を含む）が少しでもあるか、又はこの授業と平行して他の授業などでフランス語を学習する学生を対象とします。

【教科書】

『コミュニケーションのためのフランス語発音法――発音の規則と練習（CD 2 枚付）』阿南婦美代ほか著、駿河台出版社、2005 年。

【授業計画】

春学期の「フランス語トレーニング 1」では、教科書『コミュニケーションのためのフランス語発音法』の前半部分を扱います。

【学生へのメッセージ】

なるべく通年で履修して下さい。

【評価方法】

出席＋発音の試験

【質問・相談】

arakane[at マーク]a3.keio.jp

フランス語トレーニング 2（秋・月 3）

2 単位　秋学期　　**荒金　直人**

「発音のトレーニング②」

【授業内容】

フランス語の発音の規則の確認と発音練習を行います。

すでにフランス語の学習歴（独学を含む）が少しでもあるか、又はこの授業と平行して他の授業などでフランス語を学習する学生を対象とします。

【教科書】

『コミュニケーションのためのフランス語発音法――発音の規則と練習（CD 2 枚付）』阿南婦美代ほか著、駿河台出版社、2005 年。

【授業計画】

「フランス語トレーニング 1」（春学期）の続きです。「フランス語トレーニング 2」では、教科書の後半部分を扱います。

【学生へのメッセージ】

なるべく通年で履修して下さい。

【評価方法】

出席＋発音の試験

【質問・相談】

arakane[at マーク]a3.keio.jp

フランス語ライティング（秋・水４）

２単位　秋学期　　**小森　謙一郎**

「フランス語作文の基礎」

【授業内容】

フランス語で文章を作成するための基礎として、和文仏訳の演習を行います。

実際にフランス語を運用しながら、綴字や文法事項の習熟を目指します。

【教科書】

プリント配布予定。

【参考書】

フランス語初等文法を学習したときに使った教科書。

仏和・和仏辞書（定評ある辞書であればどのようなものでも結構です）。

【授業計画】

最初の授業でガイダンスを行い、受講者数・フランス語能力を見極めた上で、授業の進め方を考えます。

基本的には、毎回課題を出し、答案を検討しながら、フランス語で書く能力を身につけていきます。

人数がそれほど多くなければ、受講者の希望に沿って課題のトピックを選択していくかもしれません。

【学生へのメッセージ】

初等文法の学習を一通り終えた学生を対象として考えています。

もちろん、文法を学習したからといって最初からすらすら書けるわけではないので、その点は考慮します。

むしろ、課題の答案を作成しながら、学習した文法をもう一度学び直すつもりで参加するといいかもしれません。

外国語で作文するのは容易なことではありませんが、難儀しながらコツコツ努力を積むことで、だんだんと書けるようになっていきます。焦らず、地道に学習していきましょう。

【評価方法】

平常点（出席点および課題の提出）と期末試験を合わせて評価します。

ただし著しく欠席が多い学生は評価基準を満たさないものとします。

フランス語リーディング（秋・水３）

２単位　秋学期　　**岩崎　洋介**

【授業内容】

主に仏語を一年間程度履修された方を前提として仏語のテキストを読んでゆく授業です。初級の教科書の短めの文章ではないある程度まとまったものに接することで語彙を増すだけではなく、仏語の発想、流れに慣れていただければ、と思っています。読むものとして新聞、文学作品からの引用等を考えています。

因みに昨年度は、ラマルチーヌの詩、アポリネールの短篇、ドビュッシーの手紙をとりあげました。

【教科書】

受講される方がどのような内容のものを読みたいのかを訊いてから決めます。

【評価方法】

未定（恐らくは授業内での評価になるかと思います）。

フランス語基礎１（春・水３）

２単位　春学期　　**岩崎　洋介**

「初級文法全般の学習」

【授業内容】

フランス語の初級文法の確認と習得のための授業です。一年生の時に必修フランス語を履修したので初級文法の全体を確認して今後の学習につなげたいと思っている学生や、これまでフランス語を学んだことはないがこれから文法を中心に効率的に学んでいきたいと思っている学生などを対象とします。

【教科書】

『アン・ドゥ・トロワ――フランス語問題集』（白水社・斎藤昌三編）

【評価方法】

未定。

恐らく数度の小テストを課します。

フランス語基礎１（春・月３）

２単位　春学期　　**関　幸太郎**

「初級文法全般の学習」

【授業内容】

フランス語の初級文法の確認と習得のための授業です。一年生の時に必修フランス語を履修したので初級文法の全体を確認して今後の学習につなげたいと思っている学生や、これまでフランス語を学んだことはないがこれから文法を中心に効率的に学んでいきたいと思っている学生などを対象とします。

本講座にふさわしい学生：気がつくとシーズン中、全出席している方だ。遅刻をしたことがほとんど無い。努力には自信がある。几帳面な性格だと思う。宿題は多ければ多いほど良い。テストがあると、闘志が沸く。緊張感がある授業を好む。成績の結果にはこだわらない。授業中、居眠りしたことなど無い。特に月曜の３時限にはコンディションが優れている。友人にノートを貸したことがある。

本講座にはふさわしくない学生：フランス文化にあこがれている。明るく楽しく学びたい。今年こそフランス語をしっかり学びたい。いざとなると実力を発揮するタイプである。性格はおおらかな方である。自分のキャラには自信がある。是非、Ａ判定の成績が欲しい。自分の時間割りにふたつ以上「楽勝科目」がある。他人のノートを借りたことがよくある。たまたま月曜の３時限ヒマなので、受講したい。

【教科書】

『アン・ドゥ・トロワ――フランス語問題集』（白水社・斎藤昌三編）

【参考書】

授業中に指示します。

【授業計画】

毎回、ひとつからふたつのテーマの文法事項を学習します。

とにかく、全部やります。

【学生へのメッセージ】

ガイダンス時に簡単な面接をして、できれば受講者の人数をある程度制限します。ガイダンスに参加せずの受講は勧められません。

【評価方法】

毎回の授業での小テスト、毎回の授業での宿題、授業参加における答弁の精度、学期末の試験を総合して評価させていただきます。

フランス語基礎１（春・水４）

２単位　春学期　　小森　謙一郎

「初級文法全般の学習」

【授業内容】

フランス語の初級文法の確認と習得のための授業です。

一年生の時に必修フランス語を履修したので初級文法の全体を確認して今後の学習につなげたいと思っている学生や、これまでフランス語を学んだことはないがこれから文法を中心に効率的に学んでいきたいと思っている学生などを対象とします。

【教科書】

『アン・ドゥ・トロワ――フランス語問題集』（白水社・斎藤昌三編）

【授業計画】

教科書は全 14 課に分かれており、これを全課修了することを目標とします。

最初の授業でガイダンスを行ない、受講者数・フランス語能力を考慮に入れた上で、授業の進め方を考えます。

進度としては、前半を少し速めのペースでこなして、あとは一回の授業につき１課づつ進めていく予定です。

教科書は文法事項の習得に的を絞った内容なので、もう少し実践的な訓練を積む機会も設けていくかもしれません。

【学生へのメッセージ】

外国語の習得には、継続的な努力が必要です。

すでに必修フランス語を履修している学生にとっては、授業全体がおさらいになるわけですが、間隔をおいてしまうとせっかく学習したことも忘れてしまいがちです。各自「有効な復習」をすることで、学習したことを記憶にとどめるよう努めてください。

フランス語を学んだことのない学生にとっては、授業の進度は少し速いかもしれせんが、何事も意欲次第です。むしろ短期間で初級文法を学んでしまうよい機会かもしれません。意欲のある学生は、臆せず参加してください。

【評価方法】

平常点（出席点および授業中に行う小テストの点数）と期末試験を合わせて評価します。

ただし著しく欠席が多い学生は評価基準を満たさないものとします。

応用フランス語１（春・水３）

２単位　春学期　　小野　文　他

【授業内容】

2005 年度から、フランスのエコール・セントラル・インターグループ（国立理工科学院連合）と慶應義塾大学とのダブル・ディグリー・プログラム（共同学位プログラム）が始まりました。慶應からの第一期生は 2006 年に、第二期生は 2007 年に渡仏し、現在計 12 名の学生がフランスの各地で元気に頑張っています。「応用フランス語 1」では、主にこのプログラムへの参加を希望する学生を対象に、フランス人の先生がフランス語で数学や物理学などの授業を行います。その中で、留学先で必要になる理系のフランス語を学んでもらいます。このプログラムへの参加を検討中の１・２年生、そしてすでに参加が決定した３年生は、ぜひともこの授業を履修してください。また、ダブル・ディグリー・プログラムには参加しないがフランス語で自然科学を勉強してみたい、という学生の履修も

歓迎します。

【教科書】

授業中にプリントで配布します。

【学生へのメッセージ】

春学期はフランス語圏へ留学が決定済みの学生が多く履修するので、レベルも少し高めです。最初は全く分からなくてとまどうかもしれませんが、「慣れる」つもりでがんばってください。

【評価方法】

出席ならびに期末テストで評価します。

応用フランス語２（秋・水３）

２単位　秋学期　　**小野　文　他**

【授業内容】

春学期の「応用フランス語１」と同趣旨の授業で、フランス人の先生がフランス語で数学や物理学などの自然科学を教えます。ただし、扱う内容は春学期とは異なりますので、詳しくは初回の授業で説明します。

【教科書】

授業中にプリントで配布します。

【学生へのメッセージ】

春学期よりも少し易しいレベルになると思います。次年度からの留学を考えている人は、挑戦するつもりでぜひこの授業を受けてください。

【評価方法】

出席と期末テストで評価します。

フランス語セミ・インテンシブ１（春・水３、木３）

４単位　春学期　　**熊倉　敬聡**

【授業内容】

この授業は、今までにフランス語を１年程度学んだ学生を対象にしています。フランスの言語のみならずフランスの文化を意欲的に学習したい学生を歓迎します。フランス語でコミュニケートする力の向上を目指すとともに、フランスの文化の魅力（食、音楽、映画、ファッション等）を紹介します。外国語は、単に受身の姿勢では決して上達しません。積極的に声に出し、身振りもまじえてコミュニケートする。しかも、それを何度も繰り返し、練習する。それなくしては、実際に使えるような外国語は身につきません。とりわけ意欲的な学生を望みます。

【教科書】

REFLETS１（Hachette livre, 1999）

【学生へのメッセージ】

とにかく楽しい授業を皆さんと作っていきたいと思います。

【評価方法】

平常点と授業中に行なう小テストの結果で総合的に評価します。

フランス語セミ・インテンシブ２（秋・水３、木３）

４単位　秋学期　　**熊倉　敬聡**

【授業内容】

この授業は、基本的に春学期に「フランス語セミ・インテンシブ１」を受講した学生を対象としますが、それ以外の学生でも今までにフランス語を１年あるいはそれ以上学んだ学生であれば履修することができます。フランスの言語のみならずフランスの文化を意欲的に学習したい学生を歓迎します。フランス語でコミュニケートする力の向上を目指すとともに、フランスの文化の魅力（食、音楽、映画、ファッション等）を紹介します。外国語は、単に受身の姿勢では決して上達しません。積極的に声に出し、身振りもまじえてコミュニケートする。しかも、それを何度も繰り返し、練習する。それなくしては、実際に使えるような外国語は身につきません。とりわけ意欲的な学生を望みます。

【教科書】

REFLETS 1（Hachette livre, 1999）

【学生へのメッセージ】

とにかく楽しい授業をみなさんと一緒に作っていきたいと思います。

【評価方法】

平常点と授業中に行なう小テストから総合的に評価します。

フランス語インテンシブ１（春・月３、水４、木３）

フランス語インテンシブ２（秋・月３、水４、木３）

６単位　春学期／秋学期　　**小野　文**

【授業内容】

この授業はフランス語の初級文法を習得済みの学生を対象とします。総合的な語学力（読む・書く・聞く・話す）の向上を目指し、日常的な場面で実際にフランス語が使えるようになることを目標とします。

ビデオ教材を使って、会話が成立する状況の理解や「聞く・話す」能力の訓練を中心に組み立てられた授業が週二回、同じ教材の中に現れる文法事項に注目して、読解力や作文能力を鍛える授業が週一回、という組み合わせです。

少人数のクラスが予想されるので、じっくり学べる環境が作れると思います。

また、理工学部にはフランスの主要な理工系大学との交換留学制度や語学研修制度がありますが、この授業は留学に興味のある学生にとっても有益だと思います。

【教科書】

REFLETS - Méthode de français 1, éd. Hachette.

【参考書】

特になし。

【授業計画】

春学期の第一週目の一コマ目の授業でガイダンスを行い、同じ週の二コマ目から通常の授業を行います。

「フランス語インテンシブ２」は、春学期の「フランス語インテンシブ１」の続きですが、秋学期からの履修者も歓迎します。

【学生へのメッセージ】

予習･復習は不可欠です。（おそらく）少人数で、週に三コマもあるので、楽しく学び続けられるようにしたいと思います。

【評価方法】

受講者の人数次第では期末試験を課すことになる可能性もありますが、基本的には平常点で判断します。

【質問・相談】

分からない点は、授業中・授業後に遠慮せずに質問して下さい。メールや研究室での質問・留学相談も可能な限り受け付けます。

ロシア語

経

ロシア語ａ／ｂ（選択Ａ）　　ロシア語初級　　佐野　洋子

火曜５時限／金曜４時限

このクラスは、初めてロシア語を学ぶ人を対象とし、一年間で現代文を読む上で必要なロシア語文法をすべて習得します。中級レヴェルの文を辞書を用いて読む力をつけることを目的とします。最終的には、各自の専門に従って、独学でもロシア語を続けていける基礎学力をつけたいと思います。

前期は、発音・文法を中心に、後期は、読みものを中心に進めていきます。会話用のテキストも併用していきます。

成績評価基準：平常点

教材は初回の授業で配付します。辞書についても、初回の授業で説明します。

法

ロシア語インテンシブコース１年　　山田 恒、東井・ナジェージダ、安達 陽一、熊野谷 葉子

内容： インテンシブクラスの目標は、卒業時点までにロシア人とスムーズな会話を行える能力を身につけることです。それを実現するために、日吉における一年と二年、さらに三田における三年生と四年生まで一貫したプログラムを考えています。

一年時は、発音と文法、そして簡単な会話の習得を目指します。文法は日本人講師陣が担当し、発音と会話はネイテブの東井ナジェージダが担当します。

ロシア語文法は一年時で習得する事項が全てです。中級・上級と言った区分はありません。逆に、一年時で文法をきちんと習得しないなら、勉強を続けることが困難になります。ただしこれは文法表の丸暗記ではなく、会話や講読で運用しうる能力を意味します。春学期中に文法を終了する予定ですので、欠席は認めません。やむなく欠席したなら、教師に質問するなどその部分を補っておくことが絶対的な条件です。

秋学期には山田の授業ではヴィデオフィルム『ペテルブルグの七つの散歩』を使いますが、徹底した暗記を要求します。安達の授業では定評のあるハブローニナの教科書を使い、会話力の向上と文法の定着を目指します。また熊野谷の時間では、さらに踏み込んだ文法の習得と定着をはかります。東井は春学期に続いて会話の授業を行います。

教： 文法の教科書は、大学書林刊、山田・阿部著『現代ロシア語の基礎』を使います。

会話の教科書は、慶応大学出版会刊、山田・東井著『会話で始めるロシア語』を使います。その他の授業はコピーを配布します。

参： 特にありませんが、希望があれば推薦します。辞書は授業開始時点で紹介します。事前に購入しないこと。

他： 春学期には日本人講師は、各課ごとに小テストを行い、その結果で成績を付けます。東井は発音、ロールプレイの結果で成績を決めます。

秋学期には山田は暗唱、安達と熊野谷はペーパーテストの結果で成績をつけます。

ロシア語インテンシブコース２年　　**山田 恒、東井・ナジェージダ、安達 陽一、ユーリー・クロチコフ**

内容： インテンシブコースの 1 年次を修了した受講者が対象です。ただしレギュラーコースから移行したいという希望者も受け入れます。その場合には、山田による面接が条件となります。

週 4 回をそれぞれ別の教師が担当します。山田の授業では、ヴィデオフィルム『ペテルブルグの散歩』を引き続いて使用します。春学期中に修了し、秋学期には、『モスクワの 7 つの散歩』/を使い、徹底した聴解を行います。2 年次の修了時点で、ロシア語を聞き取る力は、十分なものになるはずです。安達の時間では、ハブローニハナの教科書を引き続いて使います。文法の復習と会話能力の向上を目指します。

ネイティブの東井の時間では、ロシア語を聞き、考え、話すことが中心です。授業の最初の 20 分程度は、小会話や歌を使った発音練習、その後で、会話であるが、年間 12 のテーマで演じてもらい、ヴィデオに残す予定である。パソコン（東井はロシア語のネットの本を出版しています）を使った授業なども予定しています。クロチコフの時間では、様々なテーマで会話し、会話力を高めることが目標です。例えば食事なら、テキストの中でテーマに関連する部分的なコピー（イラストによって分かるような教材）などを読み、語彙を習得してから、受講生が会話文を作り、それに基づいて、会話を進めます。

教： 1 年次で使用した教科書を引き続いて使い、その後の教科書は全てコピーを使用します。

参： 特にありませんが、要望があれば、推薦します。

他： 基本的には、平常点（出席回数、参加の積極性）ですが、山田と東井はテキストの暗唱を要求します。また安達の時間では、ペーパーテストも行います。クロチコフも平常点とペーパーテストを行い、それによって成績を決定します。

1. 復習を怠らないこと。
2. 無断欠席は決してしないこと。
3. 授業中の飲食、私語は厳禁。

ロシア語レギュラーコース１年　　**安達 陽一、岩田 貴**

内容： 初級文法を学習する。安達と岩田が同一の教科書を使用し、ロシア語を読むのに必要な一通りの文法事項を 1 年間で習得することを目指す。辞書に関しては、最初の授業で紹介する。

教： 阿部軍治：山田恒共著『現代ロシア語の基礎（改訂版）』（大学書林）

ロシア語レギュラーコース２年　　**安達 陽一**

内容： 春学期にはやさしいテキストを読みながら、今まで学んできた文法を復習し、整理します。1 年次に使用した文法の教科書は毎回、必ず持参してください。

秋学期には、新聞、雑誌、テレビ番組などを教材にして、現代ロシアの世相に触れながら、ロシア語の読解力および表現力を養っていきます。

教： プリント

ロシア語レギュラーコース２年　　**岩田 貴**

内容： 1 年次に学んだ文法の復習をしながら基本的な単語や構文、表現などを学習し、ロシア語を読み・書き・話すための基礎的な力をつけることを目指します。教材は「自己紹介」、「家族」、「住まい」、「交通」など日常生活に関連したテーマを取上げた 16 の課からできています。授業はそれぞれの課を 2 回で終えるペースで進める予定です。

語学力をつけるには、テキストを読むだけではなく、そこに出てくる単語や表現を自分で使ってみることが大切です。授業では各課で、まずテキストを訳読して各テーマに必要な単語や表現を覚え、その後でテキストの内容についてロシア語で簡単な質疑応答をします。初めのうちは教師が質問の作り方、答え方を指導しながら授業を進めていきますが、徐々に学生同士で質疑応答ができるようにしたいと思います。質疑応答が終わった後、書く能力を養うためにテキストに出てくる表現を使って作文練習を行います。

㊎： 教材はプリントして配布します。

㊂： 授業中に必要に応じて紹介します。

他： 成績評価は学期末の筆記試験に平常点を加味して行います。

テキストの訳読、質疑応答での発言などが平常点の主な算定要素となりますが、出席もまた平常点の重要な要素です。なるべく欠席しないようにしてください。

理

はじめてのロシア語（春・月 3）

2 単位　春学期　　**金田一 真澄**

「ちょっとロシア語をかじってみようと思ったあなたへ」

【授業内容】

ロシアについて皆さんはどんなことを知っていますか。白樺林、クレムリン、バイカル湖、モスクワの地下鉄、キャビア、バラライカ、コサック、イワン雷帝、レーニン、スターリン、ゴルバチョフ、プーチン、ドストエフスキー、トルストイ、チェーホフ、チャイコフスキー、エルミタージュ、テトリス、ガガーリン、シベリア鉄道、カチューシャ、ピロシキ、ウォッカ、琥珀、テルミン、マトゥリョーシカ、アンナ・クルニコワ、シャラポワなどなど。まだまだあるかもしれません。知らないようで知っている、かと思えば知っているようで知らない、そんな近くて遠い隣の国、それがロシアです。今、ロシアでは、日本の電気製品や自動車や化粧品などに対する人気が高く、また寿司をはじめ和食の人気も絶大です。そして日本との文化交流や交易も盛んに行われるようになりました。また最近、サンクト・ペテルブルクには、トヨタ、日産などの自動車工場が稼動し始めています。この機会にロシア語をかじってみてはいかがですか。一般に難しいといわれるロシア語ですが、その中に飛び込んで学んでみると、文字にしても発音にしてもなかなか味があって、きっと始めてよかったなと感じると思います。それでは、皆さんのやる気を心からお待ちしています。

【教科書】

金田一真澄著　「ステップ 30・1 ヶ月速習ロシア語」　NHK 出版　1,900 円

【授業計画】

毎回、教科書を 1～2 課ずつ進み、最後に試験を行います。

【学生へのメッセージ】

何はともかく出席すること。

【評価方法】

最後に行う試験の結果が評価の大部分を占めます。

初修外国語であることから、出席も重視します。

【質問・相談】

質問があれば、授業後に受けつけます。

ロシア語スピーキング１（春・月３）

２単位　春学期　　**上野　理恵**

「ロシアの生活文化への招待」

【授業内容】

ロシア語をひととおり勉強した人を対象とした会話のクラスです。ロシア語で簡単なコミュニケーションができるようにします。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストやビデオ教材を用い、リスニングやスピーキングの練習を中心に、具体的なシチュエーションで使われる口語表現を覚えていきます。その過程で、必要な文法事項の説明や復習を行ない、それらの文法事項を運用するためのトレーニングをします。ロシアの生活文化に触れながら、楽しく会話を学びましょう！　ロシアでの旅行にもきっと役立つと思います。

また要望があれば、ロシア語検定試験対策も行ないます。自分の学力を知るひとつの方法にロシア語検定試験があります。試験に合格すれば、就職、通訳の際の学力証明にもなるのでお勧めです。

ロシアという国を身近に感じ、興味を持ってもらえるように、ロシアの文化事情について紹介する時間ももうける予定です（その一環として映画を鑑賞します）。

【教科書】

教場でプリントを配布します。

【参考書】

教場で指示します。

【授業計画】

以下のラインナップを予定しています。

１　ガイダンス
２　「自己紹介」（計３回）
３　「道の聞き方」（計３回）
４　「買い物の仕方」（計３回）
５　「電話での会話」（計２回）
６　映画鑑賞

【学生へのメッセージ】

語学は日々の積み重ねが重要です。毎回の出席を心がけてください。

【評価方法】

学期末試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

【質問・相談】

教場で受け付けます。

ロシア語スピーキング２（秋・月３）

２単位　秋学期　　**上野　理恵**

「ロシアの生活文化への招待」

【授業内容】

ロシア語をひととおり勉強した人を対象とした会話のクラスです。ロシア語で簡単なコミュニケーションができるようにします。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストやビデオ教材を用い、リスニングやスピーキングの練習を中心に、具体的なシチュエーションで使われる口語表現を覚えていきます。その過程で、必要な文法事項の説明や復習を行ない、それらの文法事項を運用するためのトレーニングをします。ロシアの生活文化に触れながら、楽しく会話を学びましょう！　ロシアでの旅行にもきっと役立つと思います。

また要望があれば、ロシア語検定試験対策も行ないます。自分の学力を知るひとつの方法にロシア語検定試験があります。試験に合格すれば、就職、通訳の際の学力証明にもなるのでお勧めです。

ロシアという国を身近に感じ、興味を持ってもらえるように、ロシアの文化事情について紹介する時間ももうける予定です（その一環として映画を鑑賞します）。

【教科書】

教場でプリントを配布します。

【参考書】

教場で指示します。

【授業計画】

以下のラインナップを予定しています。

１　ガイダンス
２　「飛行機、列車の旅」（計２回）
３　「ホテルで」（計２回）
４　「レストランで」（計２回）
５　「劇場に行こう！」（計２回）
６　「病院で」（計２回）
７　映画鑑賞

【学生へのメッセージ】

語学は日々の積み重ねが重要です。毎回の出席を心がけてください。

【評価方法】

学期末試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

【質問・相談】

教場で受け付けます。

ロシア語リーディング１（春・水４）
ロシア語リーディング２（秋・水４）

２単位　春学期／秋学期　　**小林　潔**

「ステップアップ・ロシア語」

【授業内容】

この授業は、ロシア語の語彙を増やし、文法知識を深め、読解力を高めることを目的とします。自律的にロシア語学習を続けるための基礎を作りましょう。授業では以下を行います。

・語彙・文法学習（既習知識の復習およびあらたな事項の習得）
・問題演習（構文理解の練習および機能面からの文法へのアプローチ）
・講読（「読み甲斐のあるテキスト」を教材に文意の正確な理解をはかる。）

ロシアの文化およびロシアと日本との関わりなどについても紹介していきます。ロシア・ロシア語関連の情報なども扱います。受講生の学力・関心・要望に応じて授業内容を決めていきます。

【教科書】

諫早・服部・大平他著『セメスターのロシア語　読本』白水社（1680 円、ISBN：978-4-560-01628-2）。およびプリント配布。

【参考書】

寺田吉孝『入門者および初級者のためのロシア語文法ハンドブック』改訂版、アーバンプロ出版センター、2008 年。
ロシア語辞書（露和辞典など）

【授業計画】

【春学期】

第１回　ガイダンス。授業の進め方について。学習歴・関心の所在などに関するアンケート。ロシア語学習の位置付けとして「複言語主義」についても触れます。
第２回～第 12 回　上掲の教科書にそって既習知識の復習をしつつ、語彙と文法の習得をはかります。適宜、ロシア・ロシア語情報を提供していきます。
第 13 回　まとめと教場試験

【秋学期】

第１回　ガイダンス。授業の進め方について。学習歴・関心の所在などに関するアンケート。春学期の試験の解説。
第２回～第 12 回　基本的に１コマを以下の３部構成とします。ただし、最初のうちは文法学習を多めにします。適宜、ロシア・ロシア語情報を提供していきます。
・語彙・文法学習（プリント配布）
・問題演習（プリント配布）
・講読（プリント配布）
第 13 回　まとめと教場試験（もしくはレポート）

【学生へのメッセージ】

内容と進度はクラスの状況に合わせ配慮します。

ロシア語に関するある程度の知識を受講の前提としますが、科目履修に関する規則が認める範囲で、どのような学生も履修可能とします。独学で学んだ方もどうぞ。ただし、履修を決めたならば積極的に取り組んでください。サポートします。

【評価方法】

平常点（出席状況、授業への取りくみ）および教場試験（もしくはレポート）により評価します。

【質問・相談】

クラスで問題を共有するためにも授業中にするようにしてください。もちろん、個別の対応もしますし、メールでの質問・相談も受けます。

E-mail: kobayashikiyoshi[at マーク]aoni.waseda.jp　その他の連絡先は必要に応じて教場で示します。

中国語

経

中国語Va／Vb（選択A）　　実践中国語　　宇　振　領

金曜３時限

随時中国の新聞やテレビ、インターネットの記事などから、中国国内および国際、特に日本と関連のある最新の政治、経済、文化などの話題を取り上げる。

当授業では中国語の実戦的な能力を伸ばすことを重視する。読解・中訳日⇔日訳中・聞き取りの練習を通して、中国語の運用能力を高めることを期する。

このクラスは一年次で中国語初級の授業を終えた学生を対象とする。現在の中国、および中国と日本に関連する政治、経済、文化などの問題に興味を抱いている皆さんの参加を希望する。

テキスト（参考書他）：

毎回プリントを配付する。中国語の辞典が毎回必携。

成績評価方法：

出席状況と平常点、試験結果で総合的に評価。

法

中国語２年（既習者クラス）　　上級中国語・・・中国語らしい表現を学ぶ　　浅井　紀

内容：　本授業は、中国語の中級を学び終えた学生を対象とし、さらに上級の中国語を学びます。中級では、中国語の一般的表現を学びましたが、この授業では文学的表現・慣用句を取り入れて、さらに高い段階の中国語らしい表現を学びます。

この授業により、やや難しい中国語の文章を読むことができ、やや難しい会話をすることができる能力を養います。

まず、第15課「京白」を学びます。教科書を必ず購入すること。

㊙：　『漢語高級教程』Ⅰ・Ⅱ（北京大学出版社）を用います。

中国語２年（既習者クラス）　　青木 正子

内容：　大学２年生用のテキストの他に、受講者のレベルやニーズに合った副教材を随時準備します。今のところ、CCTV第一時間というニュース番組の視聴、中→日の翻訳などを考えています。

㊙：　『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版）

他：　期末テスト、小テスト、出席状況、授業中の意欲などを総合的に評価します。

中国語２年（既習者クラス）　　小松 嵐

内容：　中国語既習者を対象に、中国語の表現法･作文を主とし、既習文法や表現を復習しながら、次の学習段階へ上がるための基礎固めをする。

より豊かな表現ができるように、基本的な構文をふまえ、作文の応用練習を多く盛り込み、適切な文章を書けるように指導する。

日本人の犯しやすい中国語の誤用例を取り上げて解説を行う。

この授業では中国語を多用して受講生のリスニング力の向上をはかる。

教： 未定

参： 日中・中日辞書は必携。必要に応じてプリントを配布する。

他： 授業への取り組み、出席状況を重視する。小テストは不定期に行う。成績は、試験成績の外授業態度、出席状況を加味して総合的に評価する。

中国語２年（既習者クラス） **磯部 靖**

内容： この授業は、中国語を2〜3年程度勉強したことのある学生を対象とし、最終的には、中国語検定２級程度のレベルに到達することを目指します。

この授業の受講者は、各々の中国語学習歴の違いにより、中国語のレベルも異なることが予想されるので、受講者のレベルを把握した上で、具体的な授業の進め方は適宜調整していく必要があると考えられますが、差し当たり、以下の方針に基づき授業を行っていきたいと思います。

・会話力向上のための基礎となる重要フレーズの反復練習

・より中国語らしい文章を書くための訓練

・中国語検定２級レベル程度の語彙力や読解力の養成

なお、成績は、授業ごとに課される宿題、授業への取り組み方、小テスト、期末試験（ないしは、それに準ずるもの）の結果、出席回数などに基づいて判定されます。

教： 相原茂『作文ルール66－日中翻訳技法－』（朝日出版社、2007年）
長谷川正時・長谷川曜子『通訳メソッドを応用したシャドウイングと速読で学ぶ中国語通訳会話』（スリーエーネットワーク、2007年）

参： 授業の際に、適宜、紹介します。

他： ・指定された教科書を必ず購入すること

・授業に際しては予習、宿題を必ず行っておくこと。

・出席回数が授業回数の３分の２を下回った場合、成績判定の対象外となるので、注意されたい。

理

中国語トレーニング１（春・金３）
中国語トレーニング２（秋・金３）

２単位　春学期／秋学期 **藤井　敦子**

【授業内容】

基礎プラスαのレベルを目指します。

「中国語トレーニング２」は、「中国語トレーニング１」の継続です。通年履修が望ましいです。

【教科書】

東方書店『簡明実用漢語課本』

【参考書】

授業中に、適宜指示します。

【授業計画】

教科書にそって進めます。

【学生へのメッセージ】

基礎にとどまらず、応用のきく中国語を扱っていく予定ですので、予習・復習をしっかりとし、積極的に授業に参加していただきたいと思います。

【評価方法】

小テスト、期末試験、出席・授業態度等を総合的に評価します。

【質問・相談】

授業後の休み時間に受け付けます。

中国語基礎１（春・水４）

中国語基礎２（秋・水４）

２単位　春学期／秋学期　　**王　京蒂**

「中国語の表現力の向上を図る」

【授業内容】

テキストを中心にして講義を行う。書く、聞く、話すことを中心に進めたい。文法事項を復習した上に、基礎的用法を強化、拡大する。文型を重視しつつ、語彙を増やし、練習を重ねて応用できるように努力する。一年間の勉強を通して、日常会話を可能にし、簡単な文章を書けるようにしたい。

【教科書】

塚本慶一監修　劉穎著『2 年生のコミュニケーション中国語』白水社、2007 年、2200 円

【参考書】

中日辞書、日中辞書

【授業計画】

（春学期）

1. ガイダンス
2. 発音と基本文型をチェック
3. 第一課 北京に到着（連動文、動詞句主語）
4. 会話練習
5. 第二課 道を尋ねる（方位詞、反復疑問詞）
6. 会話練習
7. 第三課 買い物（比較の表現）
8. 会話練習
9. 第四課 バスに乗る（名詞修飾語、結果補語）
10. 会話練習
11. 第五課 新しい友達（様態補語、二つの「了」）
12. 会話練習
13. 復習
14. 試験

(秋学期)

1. 第六課 外食（助詞「過」、動詞「請」）
2. 会話練習
3. 第七課 約束（離合動詞）
4. 会話練習
5. 第八課 友達に電話する（方向補語、使役文、兼語文）
6. 会話練習
7. 第九課 郵便局（前置詞「把」）
8. 会話練習
9. 第十課 医者に行く（「有点」と「一点」）
10. 会話練習
11. 映画鑑賞
12. 復習
13. 試験

【評価方法】

授業内試験の結果による評価。

中国語入門１（春・月 3）

2 単位　春学期　　**大橋　由紀夫**

「未習者を対象とした、初歩からの中国語入門」

【授業内容】

まず正確に発音する練習をして、さらに基本的な文法を一通り学ぶ。これによって、基礎的な中国語を読み、書き、簡単な会話ができるようにする。外国語は、自己流では身につかないので、必ず毎回出席して、教室で練習するように心がけてもらいたい。また、一年間で文法を一通り学ぶので、「中国語入門 2」を必ず引き続き受講してもらいたい。なお、テレビ・ラジオの講座（NHK や放送大学）などをあわせて聞くことが望ましい。

【教科書】

大石智良ほか著：『CD 付・ポイント学習・中国語初級』[新装版]、東方書店。

【参考書】

新出単語などは、教科書で説明されているので、辞書や参考書は、最初は買わなくてもよい。（もし、辞書を買う場合は、比較的詳しいものとしては、『中日辞典』(小学館)、『講談社・中日辞典』(講談社)、『東方・中国語辞典』(東方書店)、『超級・クラウン中日辞典』(三省堂)、などがあり、やや小型のものとしては、『クラウン中日辞典』(三省堂)、『プログレッシブ中国語辞典』(小学館)などがある。購入する前に、図書館などで実際にいろいろな辞書を引き比べてみるとよい。）

【授業計画】

教科書にそって、一年間で終了する。

『中国語入門 2(秋・月 3)』は、『中国語入門 1(春・月 3)』の継続。実際にどの項目から行うかは、春学期の進度によるので、かならず春学期から継続して受講してもらいたい。

【評価方法】

平常点と筆記試験。

中国語入門１（春・水３）
中国語入門２（秋・水３）

２単位　春学期／秋学期　　**藤井　敦子**

【授業内容】

中国語の基礎となる発音をマスターし、基本文法を学びながら、読み、書き、話す練習を繰り返し行います。一年後には、簡単な日常会話ができるようになることを目指します。

「中国語入門２(秋・水３)」は、「中国語入門１(春・水３)」の継続です。

【教科書】

相原茂 郭雲輝 『ひねくれ燕燕』 朝日出版社

【参考書】

授業中に、適宜指示します。

【授業計画】

教科書にそって進めます。

【学生へのメッセージ】

中国語をマスターするためには、大きな声を出し積極的に授業に参加する姿勢が大切です。テキスト以外にも、中国事情を適宜紹介し、中国に対する理解と関心を深めてもらえたらと思います。

【評価方法】

小テスト、期末試験、出席・授業態度を総合的に評価します。

【質問・相談】

授業後の休み時間に受け付けます。

中国語入門２（秋・月３）

２単位　秋学期　　**大橋　由紀夫**

「未習者を対象とした、初歩からの中国語入門」

【授業内容】

まず正確に発音する練習をして、さらに基本的な文法を一通り学ぶ。これによって、基礎的な中国語を読み、書き、簡単な会話ができるようにする。外国語は、自己流では身につかないので、必ず毎回出席して、教室で練習するように心がけてもらいたい。また、一年間で文法を一通り学ぶので、「中国語入門 2」を必ず引き続き受講してもらいたい。なお、テレビ・ラジオの講座（NHK や放送大学）などをあわせて聞くことが望ましい。

【教科書】

大石智良ほか著：『CD 付・ポイント学習・中国語初級』[新装版]、東方書店。

【参考書】

新出単語などは、教科書で説明されているので、辞書や参考書は、最初は買わなくてもよい。（もし、辞書を買う場合は、比較的詳しいものとしては、『中日辞典』(小学館)、『講談社・中日辞典』(講談社)、『東方・中国語辞典』(東方書店)、『超級・クラウン中日辞典』(三省堂)、などがあり、やや小型のものとしては、『クラウン中日辞典』(三省堂)、『プログレッシブ中国語辞典』(小学館)などがある。購入する前に、図書館などで実際にいろいろな辞書を引き比べてみるとよい。）

【授業計画】

教科書にそって、一年間で終了する。

『中国語入門 2(秋・月 3)』は、『中国語入門 1(春・月 3)』の継続。実際にどの項目から行うかは、春学期の進度によるので、かならず春学期から継続して受講してもらいたい。

【評価方法】

平常点と筆記試験。

中国語セミ・インテンシブ 1（春・火 3、木 3）

中国語セミ・インテンシブ 2（秋・火 3、木 3）

4 単位　春学期／秋学期　　**表野　和江**

【授業内容】

中国語初級文法の学習をひととおり終えた学生を対象とします。初級～中級レベルの語彙および文法を確実に身につけることを目指し、講読・ヒヤリング・会話の力をバランス良く鍛えます。

「中国語セミ・インテンシブ 2」は、「中国語セミ・インテンシブ 1」の履修者を対象として授業を行います。

【教科書】

「簡明　実用漢語課本」（東方書店、2,200 円）、およびプリントを配布

【授業計画】

テキストは初級から中級までを網羅した 40 課で構成されており、本授業では中級レベルに相当する第 24 課以降を使用する予定です。また毎回授業の冒頭で、新出単語の聞き取りテスト（10 点満点）を実施します。これは平常点として成績評価に加味するだけでなく、授業をより効果的に受けるための最低限の予習となりますので、しっかりと準備して来てください。

【学生へのメッセージ】

授業は演習形式で行います。中国語に対する好奇心と学習意欲旺盛な学生の履修を望みます。

【評価方法】

平常点による総合評価。

スペイン語

経

スペイン語Ⅴa／Ⅴb（選択Ａ）　　スペイン語への第一歩。　　安藤　万奈
金曜１時限

①授業の目的および内容：
　スペイン語をはじめて学ぶ学生を対象とし、1 年間で辞書を片手に簡単なスペイン語の文章が理解できるようになることを目的とする。文法を学習することが授業の中心であるが、言語の背後にあるスペイン語圏諸国の社会や文化、よく使われる日常の表現といったことも学んでいく。スペイン語は、スペインだけでなく、ラテンアメリカをはじめ、20 カ国近い国々で使われ、国連の公用語でもある。さらなる外国語の学習を始めようとする積極的な学生を歓迎する。
②成績評価基準：授業内試験、小テスト、授業への参加度、出席状況から総合的に評価。
③授業における使用言語：日本語およびスペイン語
④読解・議論・リスニング等の比率：文法 60%、読解 30%、その他 10%
⑤テキスト（参考書等）：高橋覚二、伊藤ゆかり、杓谷茂樹、マリア・フェルナンデス著
『スペイン語を学ぼうよ！』朝日出版社。
参考書・辞書等は授業に紹介する。

商

【スペイン語Ⅸa, Ⅸb（既習）】2 単位

・大学入学以前にすでにスペイン語を学び、すでに初級文法を終えている人のためのクラスです。このクラスの履修者は、2 年生対象の「スペイン語Ⅳa, Ⅳb」（2 単位）も同時に受講し、「スペイン語Ⅰa, Ⅰb・Ⅱa, Ⅱb（計 4 単位）」に代えます。該当者は「外国語説明会（スペイン語）」の際に必ず申し出てください。

理

スペイン語入門１（春・金３）
スペイン語入門２（秋・金３）
２単位　春学期／秋学期　　**ドメネック・アロンソ，　ホセ・イグナシオ**

【授業内容】
（春学期）
第１日目　：講義概要説明。アルファベットとその発音、アクセント。
第２日目　：スペイン文化に関するビデオ。

第３日目　：SER 動詞の説明。SER＋名詞の用法。
第４日目　：定冠詞、不定冠詞の説明。SER＋形容詞の用法。男性形、女性形。
第５日目　：ESTAR 動詞、HABER 動詞の説明とその相違点。場所を表す副詞。複数形。疑問詞。
第６日目　：SER 動詞と ESTAR 動詞の用法と相違点。性数の一致。
第７日目　：SER 動詞と ESTAR 動詞に関する復習。
第８日目　：スペイン音楽の紹介。
第９日目　：AR 動詞の直説法現在形（規則活用）。不規則な複数形の説明。
第 10 日目　：ER 動詞の直説法現在形（規則活用）。疑問文。
第 11 日目　：IR 動詞の直説法現在形（規則活用）。
第 12 日目　：基数の説明。

(秋学期)

第１ 日目　：試験に関する説明。
第２ 日目　：AR 動詞、ER 動詞の現在形不規則活用。時間の表現。
第３ 日目　：IR 動詞の直説法現在形（規則活用）。所有形容詞の短縮形 MI、TU、SU 他。
第４ 日目　：AR、ER、IR 動詞の特別な不規則活用。所有形容詞の完全形 MIO、TUYO、SUYO、他。
第５ 日目　：直接目的格代名詞。色の表現。
第６ 日目　：IRA、VENIRDE の表現。“時”を表す副詞。
第７ 日目　：試験。
第８ 日目　：スペイン文化に関するビデオ。
第９ 日目　：IRA＋不定詞の説明とその用法。年齢の表現。
第 10 日目　：GUSTAR 形動詞。現在完了形の簡単な説明。
第 11 日目　：現在完了形の用法。
第 12 日目　：試験。

【教科書】

『自然に身につくスペイン語』META・著（芸林書房）

イタリア語

文

（春）　イタリア語入門Ⅰ　〔(通年）イタリア語入門（4 年生)〕　マッジャ，フェデリカ
金２時限　１・２・３年生：春学期　１単位
４年生：通年　２単位

講義・全体の目的：日常生活で使われる基本的なイタリア語の習得し，イタリアの文化について知識を深める。

各レッスンの目的：a）イタリア語の基礎的語彙と表現の増加と保持　b）２人またはグループでの会話の練習
c）文法の基礎を固める。

クラスで：a）テーマに関する表現と語彙を紹介します。
b）前に出てきた表現や語彙を，ゲームやロールプレイのような様々な練習によって定着させます。
c）テーマに関連した文法と語彙について，深く掘り下げた練習をします。
d）各ＵＮＩＴのテーマに関して日記（blog）を書きます。

教材に関しては，教科書とともに参考資料も使用する予定です。現在のイタリアの音楽とビデオ（映画，テレビのクイズ，コマーシャル，ドラマなど）を使用して日常イタリア語会話を楽しみながら学んでいきます。

教科書

Ignazio Gioè, Federica Maggia，白崎容子, *In classe - corso base di italiano -*（朝日出版社，2007）

参考書

「しっかり学ぶイタリア語文法と練習問題」ベル出版
辞書：ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典（小学館）

授業の計画

In classe – corso base di italiano　（イン・クラッセ－入門イタリア語コースー）Unità 1 - 4
実践：自己紹介をする，クラスメートや授業についてコメントする，インタビューする，家族について話す，好みや習慣を語る。

担当教員から履修者へのコメント

当講座はイタリア語とイタリア文化のイントロダクションになります。イタリア語の基礎固めとイタリア文化を深く掘り下げていくことを目的としますので，秋学期の「イタリア語入門Ⅱ」も続けて履修することをお勧めます。

成績評価方法

口頭テスト
課題や提出物など，平常点も対象とする。

質問・相談

授業の折に担当教員に尋ねてください。

（秋）　イタリア語入門Ⅱ　〔(通年）イタリア語入門（4 年生)〕　マッジャ，フェデリカ
金２時限　１・２・３年生：秋学期　１単位
４年生：通年　２単位

講義・全体の目的：日常生活で使われる基本的なイタリア語の習得し，イタリアの文化について知識を深める。

各レッスンの目的：a）イタリア語の基礎的語彙と表現の増加と保持　b）２人またはグループでの会話の練習

c）文法の基礎を固める。

クラスで：a）テーマに関する表現と語彙を紹介します。

b）前に出てきた表現や語彙を，ゲームやロールプレイのような様々な練習によって定着させます。

c）テーマに関連した文法と語彙について，深く掘り下げた練習をします。

d）各ＵＮＩＴのテーマに関して日記（blog）を書きます。

教材に関しては，教科書とともに参考資料も使用する予定です。現在のイタリアの音楽とビデオ（映画，テレビのクイズ，コマーシャル，ドラマなど）を使用して日常イタリア語会話を楽しみながら学んでいきます。

教科書

Ignazio Gioè, Federica Maggia，白崎容子, *In classe - corso base di italiano -*（朝日出版社，2007）

参考書

「しっかり学ぶイタリア語文法と練習問題」ベル出版

辞書：ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典（小学館）

授業の計画

In classe – corso base di italiano （イン・クラッセ－入門イタリア語コース－）Unità 5 - 10

実践：経験を語る，家について話す，予定をたてる，招待する，余暇について話す，バカンスについて話す。

担当教員から履修者へのコメント

当講座は「イタリア語入門Ｉ」も続くイタリア語とイタリア文化のイントロダクションになります。イタリア語の基礎固めとイタリア文化を深く掘り下げていくことを目的とします。

成績評価方法

口頭テスト

課題や提出物など，平常点も対象とする。

質問・相談

授業の折に担当教員に尋ねてください。

理

イタリア語入門１（春・火３）

イタリア語入門２（秋・火３）

２単位　春学期／秋学期　　**野里　紳一郎**

【授業内容】

目的：ヨーロッパ文化の中の一部としての「イタリア」という視点にたち、広く一般に教養としてイタリア語を学習してみたい。あるいは、コミュニケーションの手段の一つとしてイタリア語に関心をもつ学生のための入門コースとする。

内容：現代イタリア語の基礎的な文法知識を解説する。

【教科書】

『イタリア語のスタート』東京大学イタリア語教材編集委員会・著（白水社）

【学生へのメッセージ】

授業時間の中では、練習をする機会も多いので積極的に参加することが求められる。

【評価方法】

学期末試験の結果による評価、および平常点を加味する。

ポルトガル語

法

ポルトガル語第Ⅰ　　ブラジルのことば　　日向 ノエミア

内容： サッカーとボサノヴァ音楽の国、ブラジル、の言葉はポルトガル語です。この言葉に親しんで、日本に住む 30 万人のブラジル人とどこかでコミュニケーションしてみませんか？

授業では、小道具をもって演じながら、簡単な日常会話を学ぶことを試みます。そして、5〜7 分のインターバルを設け、ブラジル人と日本人のカルチャーショックの話を面白おかしくします。ここで、言葉と文化のリンケージも試みます。これは、ブラジル人以外の民族との接し方にも応用が利きくと思います！

教： 日向ノエミア『ブラジル語でコミュニケーション』（大学書林）の前半にします。

参： 辞書は、『現代ポルトガル語辞典』（白水社）がよいでしょう。

また、『ローマ字ポ和辞典』、『ローマ字和ポ辞典』（柏書房）も、例文が多いため、参考になるようです。

他： 成績の付け方や授業出席率に関しては、授業の最初の日に話し合いの上決めます。

ポルトガル語第Ⅱ　　ブラジルのことば　　日向 ノエミア

内容： 「サッカーとボサノヴァ音楽の国」ブラジルの言葉は、ポルトガル語です。この言葉に親しむと、今日本に住んでいるブラジル人（約 30 万人）とどこかでコミュニケーションが出来るかも知れません。

授業では、ブラジルの歌やジョークを交えたり、コミュニケーションギャップの話を面白おかしくしながら、言葉と文化のリンケージを試みます。 また、日常会話の練習は、初級より少し複雑なものになります。小道具を使ったロールプレイも予定しています。

教： 日向ノエミア『ブラジル語でコミュニケーション』（大学書林）の後半にします。

参： 辞書は、『現代ポルトガル語辞典』（白水社）がよいでしょう。

また、『ローマ字ポ和辞典』、『ローマ字和ポ辞典』（柏書房）も、例文が多いため、参考になるようです。

他： 成績の付け方や授業出席率に関しては、授業の最初の日に話し合いの上決めます。

朝鮮語

文

（春）朝鮮語既習Ⅰ／（秋）　朝鮮語既習Ⅱ　〔（通年）朝鮮語既習（4 年生）〕　野村　伸一

月２時限　１・２・３年生：春／秋学期　各１単位

４年生：通年　２単位

＊【セット科目】は，春・秋学期通して履修してください。

このクラスは朝鮮語をすでに学んだことのある人（日本人・留学生）を対象にしています。ここでは次のふたつのことをおこないます。

１．朝鮮語の日本語訳を実践します。これは論文や新聞記事が読めるていどの力を必要とします。例年，韓国の留学生が複数，参加しています。

２．日本人の学生に合わせた会話教材を用いて，練習します。留学生に読んでもらい，簡単な質問もしてもらいます。

2008 年度は，金順玉・阪東千津子『もっとチャレンジ!韓国語』，白水社，2007 年を使用。

教科書

読解教材は文学部の掲示板および keio.jp に掲載します（３月半ばころ）。各自それをみて準備してください。

金順玉・阪東千津子『もっとチャレンジ!韓国語』，白水社，2007 年

授業の計画

読解教材の翻訳文は必ず紙に書いてください。口頭だけの読解よりも着実な理解が期待できます。まとめて提出してもらいます。

担当教員から履修者へのコメント

辞書の訳語をつなげてもなかなか日本語にならないところが目のつけどころです。辞書の説明が不十分なのか，そもそも発想の仕方が違うのかなど考えることはいろいろあります。

成績評価方法

授業への参加の度合い，提出物によって評価します。

質問・相談

随時可。

理

朝鮮語基礎１（春・月３）
朝鮮語基礎２（秋・月３）

２単位　春学期／秋学期　　**崔　意暎**

「朝鮮語初級」

【授業内容】

週２回１年間学習した人を対象にする授業です。一年次で学んだ内容を基礎に、語彙や言い回し、文型のパターンを増やし、文章表現及び口頭表現力の向上をめざします。また、日常的な場面をテーマにしたテキストを用いて、韓国人の談話のスタイルについても理解を深めていきます。通年でハングル検定４級を目指します。

「朝鮮語基礎２」は、前期に続き、日常よく使う語彙や言い回し、文型パターンを増やし、状況に応じた口頭表現及び文章表現力を高めていきます。そのほか、時には映画やドラマ、新聞などを素材にして生きた韓国語に慣れ、韓国の文化や社会事情に対する理解も深めていきます。ハングル検定４級を目指します。

【教科書】

初回の授業で提示します。

【授業計画】

初回の授業で提示します。

【評価方法】

小テスト、平常点（出席、課題）による評価。